【まちの将来像5】

都市活力がみなぎる便利で快適なまち

1 施策の概要

1	まちの将来像	5	5 都市活力がみなぎる便利で快適なまち							
2	施策	5–1	¹⁻¹ 地域経済を支える産業をまもりそだてる							
3	施策の 方向性 (前期基本 計画より)	方向性 な森林整備を促進するとともに、地域ぐるみでの営農や市民、企業等の新たな担い手を育成します。 (前期基本 また、商店街が便利で楽しみのある場所として、買い物客や地域住民で賑わい、市内企業が安定的に事業								
		主	担当課	部名	課名	課長名				
4	担当課	(記入者		産業環境部	商工労政課	徳永 嘉朗				
7		関	連課	農林課、農業委員会事務局						
		5-1-	1 ★農材	ド業の振興						
		5-1-	2 ★都市	fと農村の交流活動等による活性	 住化					
	施策内の 取組	5-1-	3 ★商業	美の活性化						
5	(★:重点プ	5-1-	4 企業沿	手動への支援						
	ラン該当取組)									

2 H27年度末現在の施策の現状と課題

A 施策の方向性に沿って順調に進行している。
B 施策の方向性に沿っておおむね順調に進行している。
C 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている。
D 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている。

評価理由(施策の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等)

農の振興については、農業従事者の高齢化や後継者不足により、管理が困難な農地が発生していることから、その対策として集落営農の取り組みを促進し、市内4地区で集落営農組織による支援を実施しました。

また、有害獣対策として、イノシシ等の92頭の捕獲及び防止柵を設置し、被害を最小限に止めました。 林の振興については、林業団体が上音羽地区で実施した森林整備作業を支援しました。

都市と農村の交流活動については、農業祭の開催や市内6箇所の市民農園の管理運営を行いました。北辰中学校跡地利用については、PFI手法導入可能性調査を実施し、民間事業者の参入について検討を行いました。

なお、空き店舗を活用したアンテナショップの開設に関しては、地場産野菜の安定供給や販売員の人件費などの課題を解決し、早期の実現に向けた取組を推進します。

商業の活性化については、商店街等が実施するイベント事業を引き続き支援するため、補助制度の時限措置の見直しを行い、「茨木童子まつり」などのイベントを支援しました。なお、商店街の集客力・個店の魅力の向上を図るため、今後、専門家による商店の巡回訪問及び経営指導を強化していきます。

企業活動への支援については、市内企業への巡回訪問を実施し、本市や国等の各種支援施策の周知を積極的に図ることで、利用件数が増加しました。

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-1	地域経済を支える産業をまもりそだてる

一定の営農技術を有している新規就農者に対して、国の給付金を活用して農業経営をサポートするとともに、有害獣による農作物被害の防止を図るため、捕獲活動や防止柵等の設置に対し、助成を行います。

都市と農村の交流活動を活性化させるため、新たな特産品の栽培・販売方法の支援を実施します。

北辰中学校跡地利用については、PFI手法導入可能性調査結果を整理し、都市整備部が主体となって実施する北部地域のまちづくり検討調査の中で検討していきます。

商店街の活性化を図るため、商店街等が実施するイベント事業を引き続き支援するとともに、商店街の集客力・魅力向上に向けた取組を検討するため、商店街へのヒアリングを実施し、各団体の現状や今後の意向の把握に努めます。

また、市内農産物のアンテナショップの開設については、事業実施に向け課題を洗い出し、出店の可能性を検討します。

企業活動への支援については、市内企業の個別訪問やワンストップ相談を継続して実施するとともに、産学連携推進事業や ビジネスマッチングなど、大学等の知的集積やライフサイエンス関連事業など、成長産業の集積を活かした施策を推進します。 また、中小企業者を対象に、海外展開に必要な知識を得るための講座費用の一部助成やセミナーの実施を検討します。

4 今後の進め方

H29年度以降の施策の方向性

農林業の振興及び都市と農村の交流活動については、平成28年度事業を継続実施することに加え、集落営農組織に対する支援策として農業用機械のリース事業を実施するとともに、営農環境を改善するため、農業基盤施設整備の取り組みを進めます。また、直売所による地産地消の取組を推進するとともに、北辰中学校跡地について、交流の推進と地域活性化に資するよう、整備内容を検討、推進します。さらに、自然に触れ合う機会と農業を体験する場を提供する市民農園の管理運営については、指定管理による管理運営の可能性を検討します。

商業の活性化については、商店街へのヒアリングを継続し、商店街活性化に向けた取組を支援するほか、商店街による 地域への生活支援サービスや、休憩所やトイレ、ベビールームなど生活利便施設等の整備などの支援策を研究します。

企業活動への支援については、引き続き、市内企業の個別訪問やワンストップ相談を継続して実施するほか、企業立地 促進奨励金の見直しを検討するとともに、産学連携推進事業やビジネスマッチングなど、大学等の知的集積やライフサイエ ンス関連事業など成長産業の集積を活かした施策を推進します。

また、中小企業者を対象に、海外展開に必要な知識を得るための講座費用の一部助成やセミナーを実施します。

	H29年度以降の行財政改革の推進	該当する主な行革指針の具体的項目
		1-1 多様な担い手との協働のまちづくりの推進
		1-2 指定管理者制度の適正な運用
2	市民、事業者、大学、関係団体が商店街の課題を共有し、共にその解決に取り組む手法を推進します。	
	市民農園の管理運営について、指定管理者制度の導入を検討し、市	
	民サービスの向上、経費の削減を図ります。	

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-1	地域経済を支える産業をまもりそだてる

5 施策内の取組の評価

★: 重点プラン該当取約

5	施策内の	収組の計	組の評価 ★:重点プラン該当取組									
1	取 組	5-1-1	★農	林業の振興								
2	主担当課	部名		産業環境部	課名		農林課	:	課長名	大神 平		
3	関係課	商工労政	商工労政課、農業委員会事務局									
4	目 標 (前期基本 計画より)		農業生産施設や農村生活環境が整備され、さまざまな担い手により、農業が営まれ、安全・安心な農作物が市民に供給されています。また、適切な森林整備が進んでいます。									
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)	O /		あふれるまちをつ の活性化)	/	美の新たな 景地・放置		·の養成、 のマッチ	ングの推済	進		
		取組の記	評価	評価理由(取組の)	成果、現状	に影響を与	ラえたタ	卜的な要因	、対応すべ	(き今後の課題等)		
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進行 b:おおむね順記 c:進行にややい d:進行に大幅が	間に進行 遅れ	農の振興については、4 者で定期的な情報交換の 保、農業経営サポートと 捕獲及び防止柵約4.5km 場を行いまし 事と行いまし事 者等を対象に調査を実施 林の振興については、林	実施、農地中 して新規就農 り設置を行いた。さらに、 業を開始しま しました。	中間管理事業 養者1名に対し 被害防止に努 市民や市民 す。なお、人	を活用し国の給付めました。 豊園利用農業委員	、農地4筆約4 け金の支給、 こ。また、エニ 者、大学生等 会において農	46aにおいて4 有害獣対策と コ農産物栽培 を対象とした 地の利用状況	名の新たな担い手の確 してイノシシ等92頭の を推進し、約7haの圃 た農業体験ファームを立 兄を把握するため、所有		
	題			参考指標		単位	めざす	実統	責値	目標値(年度)		
				シウ 月1末		干山	方向性	H26年度	H27年度	口惊胆(千皮)		
		都市住民と	チングを行った農地面	積	a	→	0	46	40(各年度)			
		有害獣の指	#獲数			頭	1	64	92	140(各年度)		
		認定農業者	省数			人	→	108	108	110 (H31)		

1	取組	5-1-2	★都	市と農村の交流流	舌動等に	よる活性	化				
2	主担当課	部名		産業環境部	課名		農林課		課長名	大神 平	
3	関係課										
4	目 標 (前期基本 計画より)	ています	農業に関連したイベントが市内各所で行われ、市民と農業者の交流が活発化し、地域が活性化しいます。 市民が市民農園での野菜作りや体験農園での活動を楽しんでいます。								
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)	(北部地域 ②魅力と活	或の活性 舌力のあ	ふれるまちをつくる :化) ふれるまちをつくる :と経済活性化)	内 農業の 特産品 学校約) 6 次産業 品やブラン 計食などと	化の支 ドづく 連携し	援、 り、アン た地産地	テナショミ 消の推進	ップなどの支援、	
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	取組の a:順調に進行 b:おおむね順 c:進行に大幅 d:進行に大幅	調に進行遅れ	評価理由(取組の 農業祭の開催、直 を行いました。さら を行いました。 を行いました。 をした。 アンテナショップな ます。 や販売員の人件費な ます。 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	売所や市内 、市内6箇 に新たな特 パについてに ど相当の引	内体験農園 所の市民 特産品とし は、年間を 費用が必要	が行う 豊園の管 て考え 通しあり	イベント等 管理運営を ている、 開設するに 、それらの	等の情報を 行い、農と れんげ米栽 こは、地場 つ課題を解	市HP等にて発信 こかれあう場の提供 培への支援を行い 産野菜の安定供給	
	題			参考指標		単位	めざす 方向性	実 H26年度	責値 H27年度	目標値(年度)	
		農業祭来場	易者数			人	1	60,000	50,000	60,000(各年度)	
		農林産物	直売所の	O利用者数		人	1	106,000	110,000	120,000 (H31)	

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-1	地域経済を支える産業をまもりそだてる

★: 重点プラン該当取組

	★:重点フラン該当取組										
取 組	5-1-3	★商	業の活性化								
主担当課	部名		産業環境部	課名	商	工労政	課	課長名	徳永 嘉朗		
関係課	農林課										
目 標 (前期基本 計画より)	い物客が	消費者ニーズや生活スタイルの変化に伴い、利便性の高い新たな大型ショッピングセンターに買物客が流れ、従来の小売・卸売事業者の売上高が減少傾向にあります。また、まちを楽しめる機の増加が求められています。									
該当する 重点プラン (前期基本 計画より)	O / - /			内 空き店	話等の活	用促進					
	取組の記	評価	評価理由(取組の)	成果、現状	に影響を	すえたタ	朴的な要因	、対応すべ	(き今後の課題等)		
H27年度末 現在の取組 の現状と課	大売りだしなお、空き a:順調に進行 b:おおむね順調に進行 f D:おおむね順調に進行 在の取組 は進行にや地震内 は、進行にや地震内			イベントを 用した市内 給等が課題	と支援しま 内農産物の	した。 アンテ	ナショップ	プの開設に	ついては、地場産		
題			会 孝七堙		単位	めざす	実績	責値	目標値(年度)		
			少 有相保		中位	方向性	H26年度	H27年度	日保旭(千度)		
	商店を対象とした経営・販売・集客等に関する支援 件数(平成28年度新規事業) 市が主催・共催・後援等を行った集客性・回遊性の ある食に関するイベント数				件	1	-	-	累計40 (平成32年度)		
					件	1	2	2	累計3 (平成32年度)		
	商店街の活	5性化や	P認知度向上に向けた	イベント数	件	1	1	1	累計3 (平成32年度)		
	主担 担当 関 目前画 当プ基り) も を は は は は は は は は は は は は は	主担当課 部名 農林課 間係課 農林課 間標本計画より 会の 増加 とま で	主担当課	主担当課 部名 産業環境部 関係課 農林課 消費者ニーズや生活スタイルの変	主担当課 部名 産業環境部 課名 関係課 農林課 消費者ニーズや生活スタイルの変化に伴い物客が流れ、従来の小売・卸売事業者の売計画より 会の増加が求められています。	主担当課 部名 産業環境部 課名 商 関係課 農林課 消費者ニーズや生活スタイルの変化に伴い、利便性い物客が流れ、従来の小売・卸売事業者の売上高が減会の増加が求められています。 改善重点プラン (前期基本計画より) 取組の評価 評価理由(取組の成果、現状に影響を与なお、空き店舗を活用した市内農産物の安定的な供給等が課題となって可能性を検討します。 で記述にやや遅れて、通過に進行にやや遅れて、通道行にやや遅れて、通道行にやや遅れて、通道行にや極速れて、通道行にや極速れて、通道行にや極速れて、通道行にや極速れて、通道行にや極速れて、通道行にや極速れて、通道行にや極速れて、対策を持続を持続を持続にあるをであるをに関するイベント数 単位 本に表して、概な運れ 単位 市が主催・共催・後援等を行った集客性・回遊性の 本のある食に関するイベント数 体	東本 連称 連称 連称 連称 連称 連称 連称 連	主担当課 部名 産業環境部 課名 商工労政課 関係課 農林課 消費者ニーズや生活スタイルの変化に伴い、利便性の高い新たな大型い物名が流れ、従来の小売・卸売事業者の売上高が減少傾向にあります。	取組 5-1-3 ★商業の活性化 主担当課 部名 産業環境部 課名 商工労政課 課長名 関係課		

									(/3/102 /2/)		
取組	5-1-4	企業	活動への支援								
主担当課	部名	部名 産業環境部							徳永 嘉朗		
関係課											
目 標 (前期基本 計画より)	市内企	市内企業が操業を継続し、発展成長することにより、地域経済が発展しています。									
該当する 重点プラン (前期基本 計画より)				内容							
	取組の	評価	評価理由(取組の)	成果、現状	に影響を与	すえたタ	卜的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)		
H27年度末 現在の取組	a: 順調に進行 b: おおむね順i c: 進行にややi	調に進行遅れ							し、その利活用を		
題			参 字指標		畄位	めざす		責値	目標値(年度)		
					辛匹	方向性	H26年度	H27年度	日保胆(平皮)		
	巡回訪問での制度周知による各種支援施策の利用件数				件	1	80	85	100(平成32年度)		
	主担 関 目前画 当プ基り おった 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	主担当課 部名 関係課 目標(前期基本計画より) 該当する重点別基本計画より) 取組の H27年度末現在の取組の現状と課題 ※回訪問	主担当課 部名 関係課 目標(前期基本計画より) 該当する 重点プラン(前期基本計画より) 取組の評価 ト27年度末 現在の取組の現状と課題 ※回訪問での制度	主担当課 部名 産業環境部 関係課 目標(前期基本計画より) 該当する 重点プラン(前期基本計画より) 取組の評価 評価理由(取組の 市内企業への巡回誌 促進することで、事 はおおむね順調に進行 に進行にやや遅れ は、進行に大幅な遅れ 一次である。 第	主担当課 部名 産業環境部 課名 関係課 市内企業が操業を継続し、発展成長するこ 該当する 重点プラン (前期基本 計画より) 内容 取組の評価 評価理由(取組の成果、現状 に進行に対象が に進行に対象が の現状と課題 おおおおお順調に進行 に進行に対象が は進行に大幅な遅れ に進行に対象が の現状と課題 参考指標 巡回訪問での制度周知による各種支援施策の利	主担当課 部名 産業環境部 課名 商 関係課 市内企業が操業を継続し、発展成長することにより、計画より) 内容 該当する重点プラン(前期基本計画より) 内容 内容 取組の評価 評価理由(取組の成果、現状に影響を生化進することで、事業活動の支援を図るの現状と課題 は進行に大幅な遅れ は進行に大幅な遅れ は進行に大幅な遅れ が出しまる各種支援施策の利 単位 巡回訪問での制度周知による各種支援施策の利 単位	主担当課 部名 産業環境部 課名 商工労政 関係課 自標(前期基本計画より) 市内企業が操業を継続し、発展成長することにより、地域 該当する重点プラン(前期基本計画より) 内容 内容 前期基本計画より) 評価理由(取組の成果、現状に影響を与えたタークの巡回訪問等により、本市や国等の促進することで、事業活動の支援を図ることがり、連行にやや遅れるは進行にやや遅れるは進行にやや遅れるは進行に大幅な遅れを進行に大幅な遅れを対象を考指標 単位 めざす方向性 がごまたける場合での制度周知による各種支援施策の利 単位 方向性	主担当課 部名 産業環境部 課名 商工労政課 関係課	主担当課 部名 産業環境部 課名 商工労政課 課長名 関係課 目標(前期基本計画より) 市内企業が操業を継続し、発展成長することにより、地域経済が発展していまました。 該当する重点ブラン(前期基本計画より) 内容 財産の評価 評価理由(取組の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応するとで、事業活動の支援を図ることができました。 ルカマの巡回訪問等により、本市や国等の各種支援施策を周知促進することで、事業活動の支援を図ることができました。 の現状と課題 単位 めざす方向性 地位 大力の性 が回訪問での制度周知による各種支援施策の利 単位 おさず方向性 地位の対す方向性 日26年度 地域の計問での制度周知による各種支援施策の利 地域のできました。		

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-1	地域経済を支える産業をまもりそだてる

6 学識経験者の意見

1	施策	5-1 地域経済を支える産業をまもりそだてる
2	学識経験者	f畿大学総合社会学部 久 隆浩 教授
3	意見等	事業の進捗は予定通り進んでおり、一定の成果もみられることから、総合評価「B」は妥当と考えられる。 農業や地域商業の活性化については、社会状況としても厳しいものがありむずかしいことではあるが、施策 して取り組む限りは一定の成果を出さなければならない。 商業活性化の指標がイベント数などいわゆるアウトプット指標となっているが、アウトカム指標として活性化を E接図る指標としたほうが成果が分かりやすくなる。 総合評価の理由が実施した事業の列挙となっているが、成果が挙がった点、課題として残った点に絞り、記 さすることで読み手に分かりやすいシートになる。

1 施策の概要

	肥泉のベ安									
1	まちの将来像	5	5 都市活力がみなぎる便利で快適なまち							
2	施策	5-2	2 時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる							
3	施策の 方向性 (前期基本 計画より)	特区制度や企業立地促進奨励金などの企業支援施策を活用し、バイオ・ライフサイエンス分野など成長産業の集積や幹線道路沿道等での物流施設など本市の地域特性をいかした企業立地を進めます。また、多様なビジネスの創出とともに、育成された人材がいきいきと活躍することで、活力がみなぎるまちづくりを進めていきます。								
		主	担当課	部名	課名	課長名				
4	担当理	(記	2入者)	産業環境部	商工労政課	*****				
_	担当課	担当味	関	連課	都市政策課、北部整備推進課					
		5-2-	1 ★地垣	【経済の成長を先導する事業者 の	の創出・育成					
		5-2-	2 ★幹線	は道路沿道での企業立地誘導						
	施策内の 取組	5-2-	3 ★特区	区制度などを活用した企業立地 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ						
5	(★:重点プ									
	ラン該当取組)									

2 H27年度末現在の施策の現状と課題

A 施策の方向性に沿って順調に進行している。
B 施策の方向性に沿っておおむね順調に進行している。
C 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている。
D 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている。

評価理由(施策の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等)

大学との連携による中小企業者の技術力向上などを目的とする産学連携スタートアップ支援事業補助金は、平成26年度施行後、この2年間で7社9件の事業を採択し、うち1社が製造工程の効率化を図る技術を確立しました。

創業者支援に関しては、商工会議所や金融機関との連携による創業支援ネットワークを活用し、法律や税務等の専門的な支援を強化したことで創業者が増加しました。が、創業実現者のさらなる増加に向け、多様なライフステージやライフスターイルに応じた起業支援や起業後のフォローアップ体制の構築に取り組む必要があります。

本市南部地域の広域幹線道路沿道の都市的土地利用については、地権者と事業化検討パートナーとの間で事業化に向けた協議が行われています。

特区制度を活用した支援施策により彩都西部地区に4社が立地し、ライフサイエンスパークの全区画の企業立地が決定しました。また、彩都中部地区においては、物流関連の企業等の進出が決定し、事業開始に向けた開発が進められています。

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-2	時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる

平成27年度に改定した産業振興アクションプランに基づき、大学、企業、地元金融機関、地域の人材、それぞれの強みを活かした連携活動を促進し、新製品の開発やコミュニティビジネスなど、新たなビジネス活動の創出を図ることにより、産業に携わる人材の育成に努めます。また、起業志望者の発掘や起業・創業に向けた支援の充実化を図るため、女性向けの起業・創業セミナーを開催するとともに、起業・創業後のフォローアップ体制を構築し、切れ目のない支援に取り組むこととします。

本市南部地域の広域幹線道路沿道の都市的土地利用については、地権者と事業化検討パートナーによるまちづくりを推進するため、土地区画整理準備組合の設立に向けた支援を行います。

特区制度や企業立地促進奨励金などの企業支援施策を活用し、医療や医薬などライフサイエンス関連事業など成長産業の 集積を図るとともに、市内企業とのビジネスマッチングなどにより地域経済の活性化につながる取組みを行います。

なお、彩都中部地区では、市に換地される土地への企業誘致を行うとともに、彩都東部地区では、成長産業等の企業集積を 目指して、一部エリアでの事業の推進と残りエリアの事業化に取り組みます。

4 今後の進め方

1

H29年度以降の施策の方向性

平成27年度に改定した産業振興アクションプランに基づき、大学、企業、地元金融機関、地域の人材、それぞれの強みを活かした連携活動を促進し、新製品の開発やコミュニティビジネスなど、新たなビジネス活動の創出を図ることにより、産業に携わる人材の育成に努めます。また、起業・創業に関する体験活動(働き方やビジネスの仕組みを学ぶ機会の提供、起業・創業のステップやスキルを学ぶ機会の提供)など、若者、女性、高齢者の各層のライフステージに応じた起業・創業に触れる機会づくりを進め、まちぐるみで起業・創業を育み・支えていける意識の醸成を図ります。

本市南部地域の広域幹線道路沿道の都市的土地利用について、地権者と事業化検討パートナーを引き続き支援していきます。

引き続き、特区制度や企業立地促進奨励金などの企業支援施策を活用し、医療や医薬などライフサイエンス関連事業など成長産業の集積を図るとともに、市内企業とのビジネスマッチングなどにより地域経済の活性化につながる取組みを行います。

なお、彩都中部地区では、市に換地される土地への企業誘致を行うとともに、彩都東部地区では、成長産業等の企業集積を目指して、一部エリアでの事業の推進と残りエリアの事業化に取り組みます。

	H29年度以降の行財政改革の推進	該当する主な行革指針の具体的項目
		3-4 税源の確保と拡大
2	若年層の起業・創業の支援を強化し、新たな雇用創出に努めるととも に、ひいては若者の定住を図ります。	
	企業等の誘致により税収の増加が見込まれます。	

	1	まちの将来像 5		都市活力がみなぎる便利で快適なまち
I	2	施策	5-2	時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる

5 施策内の取組の評価

★: 重点プラン該当取約

5	施策内の原	収組の計	ス組の評価 ★:重点プラン該当取組							
1	取組	5-2-1	★地均	或経済の成長を <i>5</i>	た導する	事業者σ	創出	▪育成		
2	主担当課	部名		産業環境部	課名	商	工労政	課	課長名	徳永 嘉朗
3	関係課									
4	目 標 (前期基本 計画より)	出されて	クリエイタ―や研究者といった知識・技術を持った人材の活躍で、個性あふれる新しい事業が創出されています。また、事業者、大学、地元金融機関、行政や市民がそれぞれの強みをいかして取り組むことにより、地域産業の活性化が進んでいます。							
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)	きと活動で ②魅力と活	若い世代に選ばれ、高齢者がいきいと活動できるまちをつくる 魅力と活力のあふれるまちをつくる 雇用機会の拡大と経済活性化) 「コミュニティビジネスなど高齢者による地域活性化 ②大学との連携による人材育成や新たなビジネスチャレンジへの支援、空き店舗等を活用した起業などの支援							
		取組の記	評価	評価理由(取組の)	成果、現状	に影響を	与えたタ	卜的な要因	、対応すべ	(き今後の課題等)
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進行 b:おおむね順記 c:進行にやや d:進行に大幅が	調に進行	産学連携による新商に、連携大学の対象 に、連携大学の対象 の産学連携による事 また、市と民間の創 ネットワークの取り た。	を拡充した 業の付加値 業支援事業	た結果、申 価値の向上 養者(商工	請件数 に寄与 会議所	が前年度がしました。	いら倍増し 関等) の連	、市内中小企業者 携による創業支援
	題			参考指標		単位	めざす	実績	責値	目標値(年度)
						4	方向性	H26年度	H27年度	
		産学連携ス の実用化数		アップ支援事業を活用	した事業	件	1	0	1	累計10件(平成32年 度)
				ーク等を活用した創業領	13-11-33-	人	1	57	73	95(平成32年度)
		産業活性化 加価値な勢		ェクト促進事業を活用 品数	した高付	件	1	2	2	5(平成32年度)
		創業支援 ² 産業活性(ネットワー とプロジ	ェクト促進事業を活用	13-11-33-					95(平成32

1	取 組	5-2-2	★幹線道	直路沿道での1	企業立地	誘導				
2	主担当課	部名	都	市整備部	課名	都	市政策	課	課長名	田邊武志
3	関係課									
4	目 標 (前期基本 計画より)		交通利便性など本市の地域特性を活かし、幹線道路沿道において、これからの時代にふさわしい 物流などの企業立地が進んでいます。							
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)		魅力と活力のあふれるまちをつる(雇用機会の拡大と経済活性 内容 交通利便性など地域特性を活かした企業立地促進 次							
		取組の記	評価	平価理由(取組の)	成果、現状	に影響を与	ラえたタ	卜的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進行 b:おおむね順記 c:進行にやや d:進行に大幅が	恵った。	まれています。こ 本市南部地域の広 めるため地権者と	の地域特性 域幹線道路	生をいかし 各沿道の市	た企業 街化調	立地が求め	うられます。 ついては、	都市的土地利用を
	題		ź	· 参考指標		単位	めざす	実終	責値	目標値(年度)
				A IV			方向性	H26年度	H27年度	

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-2	時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる

★:重点プラン該当取組

1	取 組	5-2-3	5-2-3 ★特区制度などを活用した企業立地							
2	主担当課	部名	部名 産業環境部 :			商	工労政	:課	課長名	徳永 嘉朗
3	関係課	北部整備	推進課							
4	目 標 (前期基本 計画より)		特区制度や企業立地促進奨励金などの支援施策により、バイオ関連や環境関連など成長産業の集 資が進み、市内企業とのビジネスマッチングなどの経済効果が生まれ、地域経済の活性化が図られています。							
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)			あふれるまちをつ の拡大と経済活性	内 容 彩都等	いまける こうしゅう かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	成長産	業等の集	積促進や新	折たなまちづくり
		取組の	評価	評価理由(取組の)	成果、現状	に影響を-	与えたタ	卜的な要因	、対応すべ	(き今後の課題等)
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進行 b:おおむね順 c:進行にやや d:進行に大幅	遅れ	彩都西部地区におい の企業立地が決定し 業立地が順調に進ん 区画整理事業の事業 部で企業誘致が決定	ました。 でいます。 認可を民間	また、西部 なお、東 間事業者が	地区の 部地区	施設導入場 についてに	也区や中部 は、先行エ	地区においても企 リアにおいて土地
	題			参考指標		単位	めざす	実終	責値	目標値(年度)
				少行 旧标		十四	方向性	H26年度	H27年度	口惊鸣(千皮)
		研究施設、 数	生産施	設、物流施設等の新規	見立地件	件	1	1	2	累計10件(平成32年 度)

6 学識経験者の意見

1	施策	5-2 時代の変化を見通した新しい産業をつくり、そだてる
2	学識経験者	近畿大学総合社会学部 久 隆浩 教授
3	意見等	・事業の進捗は予定通り進んでおり、一定の成果もみられることから、総合評価「B」は妥当と考えられる。 ・本施策は新たな時代に対応した産業を育成するものであり、総合計画の目玉のひとつに位置づけられると 考えられる。今後ますますの充実を図られたい。 ・起業、とくに社会的起業はこれからの社会には不可欠なものであるが、社会的にまだまだ位置づけられて おらず、起業支援もむずかしいが、積極的に取り組むことを期待する。

1 施策の概要

<u> </u>	肥泉の似安							
1	まちの将来像	5	5 都市活力がみなぎる便利で快適なまち					
2	施策	5–3	就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる					
3	施策の 方向性 (前期基本 計画より)	人の能	動く意欲はあるが就労にあたり困難な要因を抱える人(就職困難者)や不安定な就労を余儀なくされている への能力と希望に応じた就労を支援する施策に取り組みます。また、市内の事業所において、働く人々が安しして、いきいきと働くことができる職場づくりを促進する施策に取り組みます。					
		主	担当課	部名	課名	課長名		
4	担当課	13 当 23 日 33 日 33 日 33 日 33 日 33 日 33 日 3		産業環境部	商工労政課	徳永 嘉朗		
	担ヨ砞	関連課						
		5-3-	·1 ★就労	かの支援				
		5-3-	-2 ★働き	やすい職場づくりの推進				
	施策内の 取組							
5	(★:重点プ							
	ラン該当取組)							

2 H27年度末現在の施策の現状と課題

	<u>· · – · </u>	**************************************				
1	総合評価	В	A 施策の方向性に沿って順調に進行している。 B 施策の方向性に沿っておおむね順調に進行している。 C 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている。 D 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている。			
	三万田十/佐佐の代田、田山に彫郷ナトニャは仏が五田、社庁ナジえ入後の三田原佐)					

評価理由(施策の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等)

就労支援については、支援内容の充実を図るため、平成27年度から新たに就労体験事業、子育て世代向け就労支援フェアを実施したほか、就職イベントや職業能力開発講座など様々な就労支援事業を行いましたが、雇用失業情勢の改善等により、前年度と比較し、仕事なんでも相談件数は362件から290件に、一般向け合同就職面接会の来場者数も312人から261人に減少するなど、就職サポート事業全体の利用件数が減少したことから、就職者数も平成26年度の95人から平成27年度には80人に減少しました。しかし、様々な就労阻害要因を抱える就職困難者等は、雇用失業情勢が改善傾向にあっても就職が厳しいことから、個々に応じた就労支援を行う必要があります。

働きやすい職場づくりについては、相談機会の増加と啓発活動の充実を図るため、平成27年度は大阪府と共催で労働相談会&セミナーinいばらきを開催し、セミナー参加者数は60人、相談者数は12人でした。また、健全な雇用関係の確立及び誰もが働きやすい職場環境の実現を図るため、市主催の法律セミナーや障害者雇用支援セミナー等を開催しましたが、参加者数は前年度と比較し、123人から99人に減少しました。

職場におけるハラスメント等の労働問題や、労働関係法制の改正等があることから、事業所で働く方の福祉向上を図るため、啓発活動や働きやすい職場づくりをすすめる必要があります。

1 まちの将来像 5 都市活力がみなぎる便利で快適なまち		都市活力がみなぎる便利で快適なまち					
2	施策	5-3	就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる				
3							

就労支援については、就職サポート事業において、引き続き、仕事なんでも相談、合同就職面接会、就職に必要な職業能力 開発の支援、就労体験事業を実施し、就職困難者等の就労の促進を図ります。また、新たに、女性を対象とする創業支援を実 施するとともに支援メニューの充実について検討します。

働きやすい職場づくりについては、労使トラブル防止や働きやすい職場づくりに資するため、引き続き、労働法制の周知・啓 発、労働相談、勤労者互助会への支援を実施します。また、両立支援や福利厚生の充実など働きやすい職場づくりを促進す る新たな事業について検討します。

4 今後の進め方

H29年度以降の施策の方向性 就労支援については、仕事なんでも相談や合同就職面接会、求職者の職業能力向上の支援、就労体験事業等を引き続 き行い、就職困難者の就労の促進を図ります。また、障害者を雇用する事業所への支援制度については引き続き実施し、 |市民の安定雇用の促進を図るとともに、正規雇用を促進する奨励金事業については、事業内容等を検討します。 女性を対 象とする創業支援を引き続き実施します。 働きやすい職場づくりについては、労使トラブル防止や働きやすい職場づくりに資するため、引き続き、労働法制の周知・ 啓発、労働相談、勤労者互助会への支援を実施します。また、両立支援や福利厚生の充実など働きやすい職場づくりを促 進する新たな事業に取組みます。

	H29年度以降の行財政改革の推進	該当する主な行革指針の具体的項目
		2-4 補助金、扶助費等の見直し
		2-2 事務事業の見直し
2	就労支援における正規雇用を促進する奨励金事業については、社会 経済情勢の変化等を踏まえ、事業内容や必要性を精査し、そのあり方を	
	検討します。	
	働きやすい職場づくりの促進を図る新規事業については、サンセット方式の導入等、事業終了時期を考慮し実施します。	

1	まちの将来像	5 都	市活ナ	」がみなぎる便利で	快適なま	<u></u> ち				
2	施策	111	5-3 就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる							
5 1	ルタハの 取組	<u>収組の評価 ★:重点プラン該当取組</u> 5-3-1 ★就労の支援								
2	主担当課								徳永 嘉朗	
3	関係課	HP.H		全 不须见的	IN. II	111	<i>1770</i>	. IUK	I	PENT 351 PN
4	目標(前期基本計画より)	若者、女性、障害者などが、その能力と希望に応じた就労を実現しています。 市民や学生の市内における就労と、市内中小企業等の人材確保が促進されています。						います。		
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)			ばれ、高齢者がい きるまちをつくる	内容子育で	【世代(女	性)の	就労・創	業支援	
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課 題	Eの取組 c:進行にやや遅れ						業、子育て世代向け就労 支援事業を実施しまし ら平成27年度には290件 は261人に減少するな 095人から平成27年度は		
				参考指標		単位	方向性	H26年度	H27年度	口保胆(牛皮)
		就職サポ	ート事業	を利用して就職した人		人	1	95	80	110(平成32年度)
1	取 組	5-3-2	★働	きやすい職場づく	りの推進					
2	主担当課	部名		産業環境部	課名	商	工労政	課	課長名	徳永 嘉朗
3	関係課									
4	目 標 (前期基本 計画より)	働く人	.々の権	利が守られるとと、	もに、雇用	が安定し	、安心	していきい	ハきと働い	ています。
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)	①若い世代に選ばれ、高齢者がい きいきと活動できるまちをつくる)促進		
		取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を	与えたタ	ト的な要因	大対応すべ	き今後の課題等)
取組の評価 評価理由(取組の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課 相談機会の増加と啓発活動の充実を図るため、平成27年度は大阪府と共催で発 談会&セミナーinいばらきを開催し、セミナー参加者数は60人、相談者数は11 した。また、健全な雇用関係の確立及び誰もが働きやすい職場環境の実現を図る め、法律セミナーや障害者雇用支援セミナー等を開催しましたが、市主催セミナ 参加者数は前年度と比較し、24人減少しました。 職場におけるハラスメント等の労働環境の変化や、労働関係法制の改正等に対 るため、啓発活動や働きやすい職場づくりの促進を図る必要があります。							相談者数は12人での実現を図るた の実現を図るた 市主催セミナーの の改正等に対応す			

111

参考指標

雇用・労働関係セミナーの参加者数

実績値

H26年度

123

H27年度

99

目標値(年度)

190(平成32年度)

めざす 方向性

単位

人

題

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-3	就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる

6 学識経験者の意見

1	施策	5-3 就労支援と働きやすい職場づくりをすすめる
2	学識経験者	近畿大学総合社会学部 久 隆浩 教授
3	意見等	・事業の進捗は予定通り進んでおり、一定の成果もみられることから、総合評価「B」は妥当と考えられる。 ・雇用環境が厳しい中、成果を出すのがむずかしい状況ではあるが、市民生活の安定の基盤形成として重要な施策であり、今後とも充実を図る必要がある。 ・サポート事業の利用者やセミナー参加者が伸び悩んでいるが、他主体が実施しているものを参加・利用している可能性もあるので、そうした利用者数とも合わせた評価が必要である。

1 施策の概要

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち							
2	施策	5–4	地域特	也域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる						
3	施策の 方向性 (前期基本 計画より)	を図り、	広域的な都市基盤施設の充実を図るとともに、計画的な市街地整備や地域特性をいかした土地利用の誘導を図り、強み(ポテンシャル)をいかした整備を推進します。また、住、働、学、憩という都市において行われる機能を備えた都市づくりを進め、活力と魅力の増進に取り組みます。							
		主担	旦当課	部名	課名	課長名				
4	担当課	(記入者)		都市整備部	都市政策課	田邊 武志				
4	担当床	関	連課	商工労政課、審査指導課、才	上部整備推進課、道路交通課、下	水道施設課				
		5-4-	1 計画的	りな都市基盤整備や市街地整	備					
		5-4-2	2 ★彩者	『の都市づくり						
	施策内の 取組	5-4-3	3 適切な	適切な開発や建築物・土地利用の誘導						
5	(★:重点プ									
	ラン該当取 組)									

2 H27年度末現在の施策の現状と課題

A 施策の方向性に沿って順調に進行している。
B 施策の方向性に沿っておおむね順調に進行している。
C 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている。
D 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている。

評価理由(施策の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等)

平成27年度は、「新堂二丁目地区」において市街化調整区域から市街化区域への編入に伴い関連する都市計画変更を 行いました。

本市南部地域の広域幹線道路沿道の市街化調整区域については、都市的土地利用を進めるため地権者と事業化検討パートナーが検討を進めるまちづくりを支援し、2地区において保留フレームを設定しました。

また、彩都西部地区については、平成27年度末現在、約8,100人の方が居住し、また、ライフサイエンスパーク全区画で の施設の立地が決定しています。

2 彩都中部地区は造成工事が完了し市道佐保26号線及び山麓線2工区(中部地区界〜府道余野茨木線間)が供用開始されるとともに、企業誘致が進んでいます。

彩都東部地区の先行エリアにおいては、民間事業者が土地区画整理事業の認可を取得し、造成工事が進められるとともに、関連する公共施設である山麓線4工区(府道余野茨木線~府道茨木亀岡線間)と谷山水路の整備を行っています。残りのエリアについては、新たな「土地利用の考え方(素案)及び土地利用ゾーニング(素案)」が彩都建設推進協議会でとりまとめられ、土地区画整理事業の準備組合立ち上げに向けて、地権者で構成する「彩都東部地区地権者協議会」が設立されましたが、事業実現の目途が立っていないことが課題です。

なお、地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめるため、開発指導要綱に基づく指導や都市計画制度等の活用により、市街化調整区域における無秩序な市街地の拡大を抑制するとともに、市街化区域においては、良好な生活環境の整備に努めるなど、適切な土地利用の誘導を図っています。

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-4	地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる

平成28年度は、「東芝工場跡地」においてスマートコミュニティ構想に関連する都市計画変更や「阪急総持寺駅西口駅前交通広場」の都市計画決定を予定しています。

また、本市南部地域の広域幹線道路沿道の市街化調整区域については、都市的土地利用を進めるため地権者と事業化検討パートナーが検討を進めるまちづくりを支援します

彩都への企業誘致については、企業立地促進奨励金制度を活用して進めていきます。なお、西部地区については、成長産業特区に指定されていることから、特区制度も活用していきます。

東部地区の先行エリアについては、土地区画整理事業の進捗に併せて関連公共施設である山麓線4工区(府道余野茨木線 ~府道茨木亀岡線間)と谷山水路の整備を進めていきます。

東部地区の残りのエリアについては、業務代行方式による組合土地区画整理事業の事業化目途を目指して、彩都東部地区 地権者協議会が取り組む土地利用計画案の検討、民間事業者の確保及び準備組合設立への合意形成等について、大阪府 等の関係者と連携して支援していきます。

なお、地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめるため、引き続き、開発指導要綱に基づく指導や都市計画制度等の活用により、市街化調整区域における無秩序な市街地の拡大を抑制するとともに、市街化区域においては、良好な生活環境の整備に努めるなど、適切な土地利用の誘導を図ります。

4 今後の進め方

H29年度以降の施策の方向性

引き続き、広域的な都市基盤整備等においては、国・府・近隣自治体等と協議し、連携した取組を進めるとともに、適時 適切に都市計画変更等の手続きを行っていきます。

また、本市南部地域の広域幹線道路沿道の都市的土地利用についても引き続き支援していきます。

彩都への企業誘致については、企業立地促進奨励金制度を活用して進めていきます。なお、西部地区については、成長産業特区に指定されていることから、特区制度も活用していきます。

東部地区の先行エリアについては、土地区画整理事業の進捗に併せて関連公共施設である山麓線4工区(府道余野茨木線~府道茨木亀岡線間)と谷山水路の整備を進めていきます。

東部地区の残りのエリアについては、事業実現に向けて、大阪府等の関係者と連携して、必要な都市計画変更の手続きを進めるとともに、地権者が主体的に取り組む土地区画整理組合の設立に向けた活動について支援していきます。

なお、地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめるため、引き続き、開発指導要綱に基づく指導や都市計画制度等の活用により、市街化調整区域における無秩序な市街地の拡大を抑制するとともに、市街化区域においては、良好な生活環境の整備に努めるなど、適切な土地利用の誘導を図ります。

	H29年度以降の行財政改革の推進	該当する主な行革指針の具体的項目
		3-3 新たな財源の確保
		3-4 税源の確保と拡大
2	山麓線4工区(府道余野茨木線~府道茨木亀岡線間)の整備について	
_	は社会資本整備総合交付金を活用して、財源の確保に努めます。 企業等の誘致により、税収の増加が見込まれます。	
	正木守ックのが以により、心心ないと自がからしたよりしよう。	

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち	
2	施策	5-4	地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる	
	体等内のI	Tn 幺日(カ≣亚価	▲・乗上プニン・数少取织

5	施策内の	取組の評	平価						★ :	重点プラン該当取組
1	取組	5-4-1	計画	的な都市基盤整	備や市街	地整備				
2	主担当課	部名		都市整備部	課名	都	市政策	課	課長名	田邊 武志
3	関係課									
4	目 標 (前期基本 計画より)	また、	関係機関や事業者と連携し、広域的観点から都市づくりに取り組んでいます。 また、地域の実情に応じて、適宜適切に土地利用制度が見直され、時代の変化に対応した計画的な市街地整備が進められています。							
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)				内容					
		取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を-	与えたタ	卜的な要因	、対応す^	(き今後の課題等)
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進行 b:おおむね順言 c:進行にややi d:進行に大幅	調に進行遅れ	に伴い関連する都市	「計画変更る 「域幹線道路 と事業化検討	を行いまし 各沿道の市 サパートナ	た。 街化調 一が検	整区域に~	ついては、	街化区域への編入 都市的土地利用を りを支援し、2地
	題			参考指標		単位	めざす方向性	実績 H26年度	遺値 H27年度	目標値(年度)
		都市計画沒	央定及で	『変更等案件		件	→	9	5	
1	取組	5-4-2	★彩	 都の都市づくり						
1 2	取 組 主担当課	5-4-2 部名	★彩	都の都市づくり 都市整備部	課名	北部	整備推	進課	課長名	上田 雄彦
_		部名				北部	整備推	進課	課長名	上田 雄彦
2	主担当課	部名 商工労政 東部地	課、道路区の都	都市整備部	設課は、民間の	活力等を	活用し	ながら段	と と) うられています。
3	主担当課 関係課 目 標 (前期基本	部名 商工労政 東部地 西部・ ②魅力と	課、道路区の都中部地	都市整備部 各交通課、下水道施 市づくりについて	設課 は、民間の 意等の維持	活力等を形成と企	活用し業等の	ながら段 誘致が進≀	皆的に進め められてい) うられています。
3	主担当課 関係課 目前期 当プル もプラ基 前期 もプラス	部名 商工労政 東部部・ ②魅力 と雇	課、道路 区の部地 力会 活機会	都市整備部 各交通課、下水道施 市づくりについてに 区では良好な住環り あふれるまちをつ の拡大と経済活性	設課 は、民間の 意等の維持 内 国土車 促進	活力等を形成と企	活用し業等のセスな	ながら段 誘致が進む	階的に進め められてい 性をいかり	うられています。 います。
3	主担 関 目前計画 当に期より まにの は は は は は は は は は は は は は	部名 商工労政 東部部・ ②魅力と くる (化)	課、道路 区中 活用 評価 調達れ	都市整備部 各交通課、下水道施 市づくりについてに りについては良好な住環り あかれると経済活性 野価理由(取組の 西部地区は、平成27年度 道余野茨木線間) が供用 をとともでいます。残ります とととしています。残ります。 (素案)」が彩都建設的	設課 は	活力等を企 ・ 100人の方がにとも業者工策たらにまとめらいまという。	活業セラスたりに市が画野は力がなれ、たりに、市が画野地地	ながが進る ながが進る ながが地域特 大的な 、	性的に進せ 性をいか 性をいか 大力 で で で で で で で で で で の で で の で の で の で の で の で の で の の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の	のられています。 います。 した企業等の誘致 によう後の課題等) パーク全区画での施設 には、(中部地区界~府 、造成工事が進められる 問)と谷山水路の整備
3 4 5	主担当課 関係課 目前期より) 該点が基もり) あ重前期より) H27年度末	部名 商工 労政 地・ ② なく化 取組の はよるにない は 単価値 にない は 準価値 いっこ 進行順や いっこ 進行順や いっこ 進行順や いっこ は 一番 に が は 一番 に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	課、道路 区中 活用 評価 調達れ	都市整備部 各交通課、下水道施 市づくりについてい りについてい りについてい は良好な住環り あふれるまちをつ の拡大と経済活性 評価理由(取組の 西部地区は、平成27年度 は、平成27年度 がアンムの関連部地区に、 がまかれる を行っています。 ででしています。 ででしています。 ででしています。 ででしています。 でです。 でです。 です。 です。	設課 は	活力等を企	活業 セ ラ 居完業土(府なれ立 めざ たり し、市が画興地地ま す	ながら段性がある。 ど地域特 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は	性的に進せ 性をいか 性をいか 大力 で で で で で で で で で で の で で の で の で の で の で の で の で の の の で の の の で の の の の の の の の の の の の の	のられています。 います。 こた企業等の誘致 こた企業等の誘致 こた企業等の誘致 により、これでの施設 により、これでの施設 には、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では
3 4 5	主担 関係 目前画 当点期 当点別基り) お直前画 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	部名 商工 労政 地・ ② なく化 取組の はよるにない は 単価値 にない は 準価値 いっこ 進行順や いっこ 進行順や いっこ 進行順や いっこ は 一番 に が は 一番 に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	課、道路 区中 活用 評価 調達れ	都市整備部 各交通課、下水道施 市づくりについてい りについてい りについてい りについてい りについてい は良好な住環り あかれると経済活性 野価理由(取組の 西の立場所では、定していが出来の 道条野とと行っています。 が世ので、関ます。 では表現の で、 で、 で、 で、 は、 で、 は、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 に、 をと に、 で、 は、 をと で、 で、 とと で、 で、 は、 で、 は、 に、 に、 に、 とと で、 で、 は、 で、 とと で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	設課 は	活力等を企 ・ 100人の方がにとも業者工策たらにまとめらいまという。	活業 セ 与 	ながら段性がある。 ど地域特 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は 1 は	皆的に進せいかりに進せいかい 性をいかい すっと ステム エ 本 と と と と で は で で と で で で で で で で で で で で	のられています。 います。 した企業等の誘致 にき今後の課題等) パーク全区画での施設 に区(中部地区界~府 に造成工事が進められる に対して、地権 が土地利用ゾーニング 立ち上げに向けて、地権
3 4 5	主担 関係 目前画 当点期 当点別基り) お直前画 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	部名 商工 労政 地・ ② なく化 取組の はよるにない は 単価値 にない は 準価値 いっこ 進行順や いっこ 進行順や いっこ 進行順や いっこ は 一番 に が は 一番 に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	課、道路 区中 活用 評価 にはれれれ	都市整備部 各交通課、下水道施 市づくりについてに りについては良好な住環り あがないなは良好なをは環り あがれると経済を行性 野価理由(取組の 西部地とは、定し間の道余野次本線門) エールが大きなとでは、東京の関連では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、で	設課 は	活力等を企	活業 セ ラ 居完業土(府なれ立 めざ たり し、市が画興地地ま す	なががが なががが な数がが な数がが な数がが 地域 特 とた(26)とは、26)とは をた(26)とは、26)とは をはん理事機の では、26)とは、26)とは では、26)とは、26)とは では、26)とは、26)とは、26)とは では、26)とは、2	性的に進せいない。 性をいかすって、 ファストーのでは、大力では、大力のでは、大力では、大力のでは、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力	のられています。 います。 こた企業等の誘致 こた企業等の誘致 こた企業等の誘致 により、これでの施設 により、これでの施設 には、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では、では
3 4 5	主担 関係 目前画 当点期 当点別基り) お直前画 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	部名 商工 労政 地・ ② なん) 取組の	課、道路を中活用評価を指示している。	都市整備部 各交通課、下水道施 市づくりについてい りについては良好な住環り あがなな良好な住環り あか拡大と経済活性 評価理由(取組の 西部地地のでは、定していがりるの 道条部地とにいがりる残りを でするでするでは、ではまするです。 後考指標 ですす。	設課 は	活形成とを かいます。 100人工事、者区 100人工事 者区 100人工事	活業 セ ラ 居完業士(府なれ立 め方 し、市が画興地地ま す性	ながが進さ ながが進さ だ地域特 ・ど地域等 ・とで地域等 ・とで地域等 ・ク号まる。 ・クラースのでは、 ・クラースのでは、 ・クラースのでは、 ・グルーのでは、 ・クラースのでは、 ・クラースのでは、 ・グルーのでは、 ・グルのでは、 ・グルのでは、 ・グルのでは、 ・グルのでは、 ・グルのでは、 ・グルのでは、 ・グのでは、 ・グのでは、	性的に進びした。 性をいかした。 性をいかいた。 では、対が、は、 では、対が、ないが、では、 では、対が、ないが、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、では、 では、	のられています。 います。 います。 した企業等の誘致 になる。 になる。 になる。 には、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これで
2 3 4 5	主担 関係 目前画 当点期 当点別基り) お直前画 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型 大型	部名 商工 労政 地・ ② なん) 取組の	課、道路を中活用評価を指示している。	都市整備部 各交通課、下水道施 市づくりについてい りについては良好な住環り あがなな良好な住環り あか拡大と経済活性 評価理由(取組の 西部地地のでは、定していがりるの 道条部地とにいがりる残りを でするでするでは、ではまするです。 後考指標 ですす。	設課 は	活力等を企 一に影響をより 100人のアク 100人の方が企り は造しも事業4工(まとの によりませる。 100人のより 100人のようが 100人のな 100人の 100人の 100ん	活業 セ 与 居完業土(府なれ立 め方 し、市が画衆地地ま す性	ながら段性 ながが進る 大的な 要 ライ緑 表 を と と と と と と と と と と と と と と と と と と と	性をいか 性をいか 性をいか 大力 大力 大力 大力 大工 大工 大工 大工 大工 大工 大工 大工	のられています。 います。 こた企業等の誘致 こた企業等の誘致 こた企業等の誘致 これら、ことの一の施設 これら、ことの一の施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 での施設 でのを当ば、と谷山水路の整備 で立ち上げに向けて、地権 が立っていないことが課 はば、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-4	地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる

★:重点プラン該当取組

1	取 組	5-4-3	適切	な開発や建築物・	土地利用	用の誘導				<u> </u>	
2	主担当課	部名		都市整備部	課名	都	市政策	課	課長名	田邊	武志
3	関係課	審査指導	審査指導課								
4	目 標 (前期基本 計画より)			用形態の変化を見近 環境の形成が進めり			地利用	誘導や開発	発指導によ	り、良好	な生活環
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)				内容						
		取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を与	与えたタ	朴的な要因	、対応すべ	き今後の記	果題等)
6		a:順調に進行 b:おおむね順 c:進行にやや d:進行に大幅	調に進行遅れ	開発指導要綱に基 る無秩序な市街地の の整備に努めるなど また、平成27年度 編入に伴い関連する 地利用の誘導を図り	拡大を抑制 、適切なこ よ「新堂二 地区計画の	訓するとと 上地利用の 丁目地区」	もに、 誘導を におい	市街化区域図っているいて市街化	成において ます。 調整区域カ	は良好な生いら市街化	活環境区域への
	題			参考指標		単位	めざす 方向性		責値 	目標値	(年度)
							力问性	H26年度	H27年度		, , ,,,,,

6 学識経験者の意見

1	施策	-4 地域特性をいかした都市づくりを計画的にすすめる	
2	学識経験者	大学総合社会学部 久 隆浩 教授	
3	意見等	業の進捗は予定通り進んでおり、一定の成果もみられることから、総合評価 茨木駅周辺整備や都市計画道路の整備など、目に見えて整備が進んですいて計画決定された事業についても、評価に入れたほうがいいのではない。 4-3 適切な開発や建築物・土地利用の誘導」に参考指標がないが、地区 なでもあり、累積した地区計画数を参考指標に用いることも評価に有効かと	3り、5-6等と重複するがこうし いか。 計画数が多いことが茨木市の

1 施策の概要

<u> </u>	肥泉の似安								
1	まちの将来像	5	都市活力	」がみなぎる便利で快適なます	Ď				
2	施策	5–5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる						
3	施策の 方向性 (前期基本 計画より)	め、計 境や美 また、	市民、事業者等による開発や施設の管理が良好な環境を形成することを基本に、住みよいまちを創るため、計画の共有、ルールの作成、適正な運用と適時適切な見直し、住民への支援などを行い、快適な住環竟や美しい街並みが魅力的で将来にわたり住み続けたいまちをめざします。 また、緑地の適正な保全と緑化を推進し、自然とのふれあいやみどりをいかしたうるおいのある環境づくりをめざします。						
		主担当課(記入者)		部名	課名	課長名			
4	担当課			都市整備部	都市政策課	田邊 武志			
4		関	連課	審査指導課、建築課、公園緑地	拉課				
		5-5-	1 快適で	で良好な住環境の形成					
		5-5-	2 都市に	都市におけるみどりの形成					
	施策内の 取組	5-5-	3 ★良妇	★良好な景観の保全と創造					
5	(★:重点プ	5-5-	4 良好な	良好な住宅ストックの形成					
	ラン該当取組)	5-5-	5 公的住	E宅の改善・充実					

2 H27年度末現在の施策の現状と課題

A 施策の方向性に沿って順調に進行している。
B 施策の方向性に沿っておおむね順調に進行している。
C 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている。
D 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている。

評価理由(施策の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等)

良好な住環境を創出するため、開発許可、建築行為等に対して、細街路計画に沿った指導を行っています。今後も、基準に基づいて用地費、工事費等の助成を行い整備を進めていく必要があります。

緑の基本計画の改定に向け、みどりの施策推進委員会において審議を進めながら、パブリックコメントを実施し、計画成案を作成しました。

さくらまつりの事業展開について、観光部局等を含め意見を集約し検討を進めました。観光の視点を取り入れたより魅力ある事業展開を図る必要があります。

公園施設における長寿命化計画を策定するとともに、公園再整備等の実施計画を策定しました。また、元茨木川緑地の公園灯のLED化(8灯)を実施しました。

元茨木川緑地の再整備については、緑の基本計画において重点的な取組に定めており、市民のニーズを踏まえながら進めていく必要があります。

2 若園公園バラ園の植栽土壌等の調査を実施し、苗木更新や再整備方法を検討しました。

景観計画及び景観条例に基づき、地区の特性に応じた良好な景観の形成に努めるとともに、良好な居住環境を保全するため、 建築行為等について協議、指導等を行いました。 また、屋外広告物についても、府条例に基づき許可事務を行いました。

良好な住宅ストックを形成するため、長期優良住宅の認定や、住宅の耐震化に対する補助を行い、耐震化率の向上に努めました。

マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業に伴う建替組合の設立などの支援を行う必要があります。

市民への住まいに関する情報提供の充実を図り、長期にわたり持続可能な住宅の供給や支援を行いました。

市営住宅について、平成26年度に実施した耐震診断結果に基づき、耐震改修が必要となった7棟のうち3棟の耐震化・長寿命化改善設計を実施しました。

今後の課題としては、入居者が生活しながらの工事となるため、入居者に影響が少ない施工方法を選択する必要があります。 また、厳しい財政状況のもと住宅需要を的確に対応することが求められているため、住宅ストックの長寿命化を図り、維持管理コストの縮減を図る必要があります。

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる

引き続き、開発許可、建築行為等に対し、細街路計画に沿う指導を行い、基準に基づき用地費、工事費等の助成を行い整備 を進めます。

改定した緑の基本計画に定めた目標や取り組み方針の施策に従い、緑の将来像の実現に向けた取り組みを進めます。 公園施設における長寿命化計画に基づいて、遊具更新等再整備を行います。

さくらまつりについては、引き続き観光部局等との意見交換を進め、より魅力ある催しに向けた事業展開を検討します。

若園公園バラ園の苗木更新等を進めながら、施設の再整備に向けた実施設計を行います。

元茨木川緑地については、再整備に向け関係各課との検討を進めます。

都市景観整備を総合的かつ計画的に推進するため、景観計画及び景観条例に基づき、地区の特性に応じた良好な景観の 形成に努めるとともに、良好な居住環境を保全するため、建築行為等について協議、指導等を行います。また、屋外広告物に ついて、必要に応じて本市独自の屋外広告物条例の制定を検討します。

良好な住宅ストックを形成するため、長期優良住宅の認定や住宅の耐震診断、耐震改修費用の補助を行い、耐震化率の向上を図ります。

マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業に伴う建替組合の設立などに対する支援を行います。

市民への住まいに関する情報提供の充実を図り、長期にわたり持続可能な住宅の供給や支援を行います。

市営住宅について、耐震診断により耐震改修が必要となった7棟のうち、詳細設計を行った3棟の耐震化・長寿命化改善工事を実施し、残り4棟については詳細設計を行います。

4 今後の進め方

H29年度以降の施策の方向性

引き続き、開発許可、建築行為等に対し、細街路計画に沿う指導を行い、基準に基づき用地費、工事費等の助成を行い整備を進めます。

改定した緑の基本計画で定めた目標や取り組み方針、施策に従い、緑の将来像の実現に向けた取り組みを進めます。 公園施設における長寿命化計画に基づき、公園の再整備を行います。

さくらまつりについては、引き続き観光部局等との検討を行いながら、より魅力ある催しに向けた事業展開を進めます。 若園公園バラ園の苗木更新及び植栽基盤整備とあわせ施設再整備を年次的に進めます。

元茨木川緑地については、平成31年度より再整備に向けた基本構想を策定し実施して行きます。

都市景観整備を総合的かつ計画的に推進するため、景観計画及び景観条例に基づき、地区の特性に応じた良好な景観の形成に努めるとともに、良好な居住環境を保全するため、建築行為等について協議、指導等を行います。また、屋外広告物についても、良好な景観形成に配慮するよう指導等を行います。

良好な住宅ストックを形成するため、長期優良住宅の認定や住宅の耐震診断、耐震改修費用の補助を行い、耐震化率の向上を図ります。

マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業にともなう建替組合の設立などに対する支援を行います。

市民への住まいに関する情報提供の充実を図り、長期にわたり持続可能な住宅の供給や支援を行います。

平成29年度に市営住宅の耐震改修工事を完了させ、すべての住棟について外壁改修、屋上防水改修などの整備工事を行うことで、建築物の長寿命化を図ります。

また、市有建築物の長寿命化改善を推進するに当たっては、交付金等の確保に向け、府とも協議をしつつ、 事業費の 平準化が図れるよう十分検討を行います。

	H29年度以降の行財政改革の推進	該当する主な行革指針の具体的項目
		2-5 公共施設等の適正管理と有効活用
		1-1 多様な担い手との協働のまちづくりの推進
		3-1 計画的な財政運営
2	公園の再整備については、公園施設における長寿命化計画に基づき 進めます。 元茨木川緑地の再整備については構想の策定やマネジメントにおいて 市民参加の仕組みを取り入れて進めます。 市有建築物の耐震化及び長寿命化改善を推進するに当たっては、交 付金による歳入の確保と、ライフサイクルコストの改善の効果が得られるよ う計画的に実施します。	

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる

5	施策内の	収組の許	<u> </u>						★:	重点プラン該当取組		
1	取組	5-5-1	快適	で良好な住環境の	の形成							
2	主担当課	部名		都市整備部	課名	審	查指導	課	課長名	太田 薫		
3	関係課											
4	目 標 (前期基本 計画より)	市民・	市民・事業者・行政の協働により、住環境の保全と向上が図られています。									
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)		内容									
		取組の記	評価	評価理由(取組の)	成果、現状	に影響を	ラえたタ	卜的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)		
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進行 b:おおむね順記 c:進行にやや d:進行に大幅な	間に進行 屋れ	良好な住環境を創 街路計画に沿った指 助成を行い整備を進	導を行って	ています。	今後も					
	題			参考指標		単位	めざす	実績値		目標値(年度)		
				少行旧标		+ 4	方向性	H26年度	H27年度	口际吧(千戌)		
		細街路計画	画に沿っ	た道路の整備件数の	割合	%	1	73	87	90(H28)		
		細街路計 個	町に沿っ	た迫路の整備件数の	割台	%	/	73	87	90(H2		

1	取組	5-5-2	都市	におけるみどりの	形成							
2	主担当課	部名	部名 建設部 課名 公園緑地課 課長名 浦野 芳博									
3	関係課											
4	目 標 (前期基本 計画より)	都市に す。	都市における緑空間の再整備や充実が進み、市民の利用を促進できる都市空間が形成されています。									
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)		内容									
		取組の	評価	評価理由(取組の)	成果、現状	に影響を与	与えたタ	卜的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)		
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a: 順調に進行 b: おおむね順 c: 進行にやや d: 進行に大幅	調に進行遅れ	緑の基本計画の改定に クコメントを実施し、 さくらまつりの入れた。 若園公園がラ園の福見 公園施設におけて木川 た。また、元茨木川緑地の再整が のニーズを踏まえなが	計画成案展開についまり、まりは実等のでは、まりは実等のでは、ままのでは、まままでは、まままでは、まままでは、まままでは、まままでは、ままままままでは、まままままでは、まままままままま	を作成しまで を作る調を での まで を で の LED化 は しま の は に しま の は に しま の は に り の し に り の し に り る り に り る り に り る り に り る り に り る り る	した。 局等を し、と を し、と を が 計画	含必要更 見あや 見あや 関 を を り 再 し に に に に に れ に れ し て れ し こ れ に れ に る し ま れ に る し ま れ に る し ま る し る し る し る し る し る し る し る し る	集約し検討 ます。 整備方法を 整備等の実 た。	を進めました。観光 検討しました。 施計画を策定しまし		
	題			参考指標		単位	めざす 方向性	実終	責値	目標値(年度)		
			少 有相保					H26年度	H27年度	口惊心(千及)		
				基づき老朽化した遊戯だ なった公園の割合	施設の更	%	1	0	0	100(H31)		
		若園公園	バラ園の)再整備を行った面積の	の割合	%	1	0	2	100(H31)		

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる

主担当課 部名 都市疫病部 課名 都市政策課 課長名 田邊 武水 関係課 審金指導課 市民・事業者・行政の協働により、美しい景観は市民共通の財産として、創る・守る・育てる	2	旭 來	3-3 艮	»Г С II	このよい現現・京観	シャツで 9	9 070					
主担当課 部名										★ :	重点プラン該当取約	
関係課	1	取 組	5-5-3	★良:	好な景観の保全と	上創造						
日 標 (前期基本 計画より) 市民・事業者・行政の協働により、美しい景劇は市民共通の財産として、創る・守る・育てる がう意識の共有と実践が進んでいます。	2	主担当課	部名		都市整備部	課名	都	市政策	課	課長名	田邊 武志	
(前期基本 計画より	3	関係課	審查指導課									
重点プラン 2 転力を活力のあふれるまちをつ 内 J R 茨木、阪急茨木市駅周辺において、市の顔にふさわし 容 い良好な景観の誘導 取組の評価 評価理由(取組の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等: 現在の取組 の現状と課題 参考指標 単位 かざす 大部では、	4	(前期基本		市民・事業者・行政の協働により、美しい景観は市民共通の財産として、創る・守る・育てるという意識の共有と実践が進んでいます。								
日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本	5	重点プラン (前期基本	- ,									
世紀では、世紀の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の			取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を-	与えたタ	朴的な要因	、対応すべ	(き今後の課題等)	
取組 5-5-4 良好な住宅ストックの形成 主担当課 部名 都市整備部 課名 都市政策課 課長名 田邊 武志 関係課 目標 (前期基本 計画より) 取組の評価	6	現在の取組 の現状と課	b: おおむね順i c: 進行にややi	調に進行 遅れ	ともに、良好な居住 した。	環境を保全	全するため	、建築	行為等にでき許可事務	らいて協議	、指導等を行いま	
取組 5-5-4 良好な住宅ストックの形成 主担当課 部名 都市整備部 課名 都市政策課 課長名 田邊 武志 関係課 目標(前期基本 計画より) 取組の評価 評価理由(取組の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等) (お期基本 計画より) 取組の評価 評価理由(取組の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等) (に努めています。 では、アンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業にといるう建替組合の設立などに関する情報を分譲マンションとます。 では、アンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業にといるう建替組合の設立などに関する情報を分譲マンションセミナー等で、マンションの 区分所有者等に周知・啓発を行っています。 (と) は、活情にと、東の充実を図っていくことが必要です。 供の充実を図っていくことが必要です。 (世紀の武士と課題) 参考指標 単位 めざす 実績値 日標値(年度) 日標値(年度)		趄			参考指標	参考指標				I		
主担当課 部名 都市整備部 課名 都市政策課 課長名 田邊 武志 関係課 目標 (前期基本 計画より) 良好な住宅が供給され、市民の居住環境が向上しています。 古									H20年度	H2/年度		
主担当課 部名 都市整備部 課名 都市政策課 課長名 田邊 武志 関係課 目標 (前期基本 計画より) 良好な住宅が供給され、市民の居住環境が向上しています。 古												
主担当課 部名 都市整備部 課名 都市政策課 課長名 田邊 武志 関係課 目標 (前期基本 計画より) 良好な住宅が供給され、市民の居住環境が向上しています。 古												
主担当課 部名 都市整備部 課名 都市政策課 課長名 田邊 武志 関係課 目標 (前期基本 計画より) 良好な住宅が供給され、市民の居住環境が向上しています。 古												
主担当課 部名 都市整備部 課名 都市政策課 課長名 田邊 武志 関係課 目標 (前期基本 計画より) 良好な住宅が供給され、市民の居住環境が向上しています。 古	1	取組	5-5-4	良好:	な住宅ストックの	形成						
関係課 目標 (前期基本 計画より)	2		部名	277			都	市政策	:課	課長名	田邊 武志	
日標 (前期基本 計画より) 取組の評価	3				HI TI III VIII FI	#11 E	HI.			#1.22 F	7 7 7 7 7	
良好な住宅が供給され、市民の居住環境が向上しています。		- AT 1/1 [X]										
重点プラン (前期基本 計画より) 取組の評価 評価理由(取組の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等) 住まいの安全を確保するために住宅の耐震化に対する補助を行い、耐震化率の向上に努めています。 マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業にといなう建替組合の設立などに関する情報を分譲マンションセミナー等で、マンションの返分所有者等に周知・啓発を行っています。 良好な住宅ストックを形成するための長期優良住宅の認定などを行っています。今後も長期にわたり持続可能な住宅の供給や支援、市民への住まいに関する情報提供の充実を図っていくことが必要です。 ***********************************	4	(前期基本	良好な	住宅が	供給され、市民の昂	居住環境が	向上して	います	0			
日本の収益を確保するために住宅の耐震化に対する補助を行い、耐震化率の向上に努めています。	5	重点プラン (前期基本										
Lang Lang			取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を-	与えたタ	朴的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)	
題 単位 めざす 方向性 #426年度 H27年度	6	現在の取組	b:おおむね順 c:進行にやや	調に進行 遅れ	に努めています。 マンションの良好がなう建替組合の設立 区分所有者等に周知 良好な住宅ストッ 今後も長期にわた	な居住環境 などに関 1・啓発を行 クを形成 り持続可能	の確保のた する情報を うっていま するための 能な住宅の	ため、 分譲マ す。 長期優	マンション ンション t 良住宅の記	の適正管理 Zミナー等 Z定などを	型や建替事業にともで、マンションの 行っています。	
分譲マンションセミナー 回 → 2 2 2					参考指標		単位			1	目標値(年度)	
			分譲マンシ	/ョンセミ	 ミナー		回	→	2	2	2	

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-5	良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる

★:重点プラン該当取組

1	取 組	5-5-5	公的	住宅の改善・充実	<u> </u>				,,,,	主 ホン ノン 欧 コ 収 仙	
2	主担当課	部名		建設部	課名		建築課		課長名	辻 俊昭	
3	関係課										
4	目 標 (前期基本 計画より)	公的住	公的住宅の改善・充実が図られています。								
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)		内容								
		取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を	与えたタ	卜的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)	
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進行 b:おおむね順i c:進行にやや d:進行に大幅	調に進行	ない施工方法を選択	iのうち以 ⁻ i i及び2棟 iは、入居 iしました。 c状況のも。	下の3棟の 者が生活し と需要に的	耐震化 ながら 確に対	・長寿命(の工事とな 応すること	と改善設計 よるため、 こが求めら	を実施しました。 入居者に影響が少 れているため、今	
	題			参考指標		単位	めざす	実終	責値	日博店(左鹿)	
				多 有拍 惊		早1业	方向性	H26年度	H27年度	- 目標値(年度)	
		市営住宅の耐震化及び長寿命化改善が完了した 住棟の割合				%	1	0	0	100 (H32)	

6 学識経験者の意見

1	施策	5-5 良好で住みよい環境・景観づくりをすすめる
2	学識経験者	近畿大学総合社会学部 久 隆浩 教授
3	意見等	・事業の進捗は予定通り進んでおり、一定の成果もみられることから、総合評価「B」は妥当と考えられる。 ・細街路計画にもとづく密集市街地整備は茨木市の特徴でもあり、総合評価にも記述してもいいのではないか。 ・公園や市営住宅の再整備がなされておらず、市民生活に影響ある事業でもあり、進捗が望まれる。 ・「5-5-3 良好な景観の保全と創造」に参考指標が設けられていないが、大規模建築物の届出件数など数値化できるものを指標として設定し、より客観的な評価ができるよう工夫されたい。

1 施策の概要

÷	□ 肥泉♡佩安										
1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち								
2	施策	5-6	時代と める	:市民の其	∄待•	要請に	応え活え	力みなぎる	部市づくりをすす		
3	方向性	え、生活 地域を	子来にわたって住み続けたい、さらに活力ある都市として成長・発展させていくという視点から都市構造を捉 上、生活を支える都市機能を維持・向上させるとともに、中心部における魅力ある地域、拠点への再生、北部 地域をはじめとする豊かな文化、自然資源等をいかし効果を高める取組などにより、これからの時代を先導 一る活力あるまちづくりを進めます。								
	担当課	主担当課(記入者)		部	名		ä	果名	課長名		
4				都市	7整備部	3	都市	 市政策課	田邊 武志		
7		関	連課	商工労政課、市街地新生課、北部整備推進課、道路交通課、公園緑地課、社会教育振興課、まち魅力発信課、スポーツ推進課、農林課							
		5-6-	1 ★生活	5を支える拠点	の整備	•充実(拠点	京の配置とネ	ットワークの維持・	増進)		
		5-6-	2 ★魅力]ある中心市後	f地·駅周	周辺の整備	:				
	施策内の 取組	5-6-	3 (仮称))JR総持寺駅を	を活かし	た都市づく	[9				
5	(★:重点プ	5-6-	4 ★北部	★北部地域の魅力向上							
	ラン該当取 組)										

2 H27年度末現在の施策の現状と課題

A 施策の方向性に沿って順調に進行している。
B 施策の方向性に沿っておおむね順調に進行している。
C 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている。
D 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている。

評価理由(施策の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等)

平成27年度は、本市の中心市街地の活性化を図るため、平成26年度から取組を進めている「茨木市中心市街地活性化基本計画」の策定において、「茨木市中心市街地活性化協議会」の設立及び中心市街地の将来像や実施事業を検討しました。

また、立地適正化計画策定に向け、本市の各拠点における都市機能配置等の基礎調査を行いました。

中心市街地の活性化を図るため、「茨木市中心市街地活性化基本計画」の策定に向けた協議会を平成27年度に設立 し、将来像等の検討を行いました。今後、基本計画策定においては、ハード事業とソフト事業をバランス良く記載する必要 があります。立地適正化計画の策定については、本市の各拠点における都市機能配置等の現状調査を行いました。

また、小売店舗改築における支援制度を拡充するとともに、市と民間の創業支援事業者(商工会議所、金融機関等)の連携による創業支援ネットワークの強化に努めたことなどにより、創業実現者数が前年度より16名増加しました。

JR茨木駅および阪急茨木市駅西口駅前の再整備については、平成27年度に基本計画の検討を行い、駅前広場等の配置計画(案)を策定するとともに、バリアフリー化などの暫定整備を実施しました。今後も引き続き、関係者と連携を図りながら協議・調整を行う必要があります。

(仮称)JR総持寺駅整備については、内側線路の切り替え工事に着手するとともに、駅舎・橋梁部分の仮土留工事等を実施しました。また、周辺整備については、関係機関と連携を図りながら進めてまいりましたが、用地協力に対して一部地権者の理解が得られておりません。

北部地域には緑豊かな自然や歴史環境があり、憩い・癒しの場として市民に親しまれており、エリアガイドBOOK「いばきた」などを活用し、北部地域の魅力発信を進めたこともあり、交流人口は増加しています。

今後も、広く情報を発信するとともに、地域の課題等を踏まえながら、魅力ある北部地域の維持、発展につなげる取組が求められています。

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-6	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる

平成28年度は、本市の中心市街地の活性化を図るため、中心市街地の将来像や実施事業を検討し、「茨木市中心市街地活 性化基本計画(案)」を作成するとともに、「立地適正化計画」の策定に向け、本市に必要な都市機能増進施設を誘導する「都 市機能誘導区域」の指定を行います。

中心市街地においては、道路・公園などの公共空間や空き店舗等の商業施設の活用を展開するための企画を検討し、実現 に向け試行いたします。女性向けの起業・創業に関する入門セミナーの開催による起業志望者の発掘や起業・創業後のフォロ ーアップ体制の構築により、支援の充実を図ります。JR茨木駅西口周辺整備については、駅前ビルの動向に注視しながら関係 者と協議・調整を行ってまいります。阪急茨木市駅西口周辺整備については、事業パートナー等と連携し事業手法等について 検討を進めてまいります。

(仮称)IR総持寺駅整備については、内側線路の切り替え工事が完了し、駅舎・ホーム設置等の工事を進めます。また、五反 田橋梁工事は完了し、大型の緊急車両等の通行が可能となります。

阪急総持寺駅西口駅前の交通結節点としての機能強化と利便性向上に向け、駅前交通広場の都市計画決定を行います。 周辺道路等の整備については、事業の必要性を理解していただけるよう努めてまいります。

北部地域においては、エリアガイドBOOK「いばきた」や市広報誌等を活用した魅力発信に努めるとともに、公共交通機関と連 携した情報発信に取り組みます。

また、千提寺菱ヶ谷遺跡を交流拠点として市民に開放するとともに、安威川ダム周辺整備の事業化に向けて取り組むほか、人 口減少などの北部地域が抱える課題等を念頭に置きながら、点在する資源をつなぐ方策や様々な資源に係わる組織や人との 関係を整理・検討します。

4 今後の進め方

H29年度以降の施策の方向性

魅力ある中心市街地の創出に向け、平成29年度は、「茨木市中心市街地活性化基本計画」を策定し、内閣総理大臣認 定取得を目指すとともに、平成30年度以降は、基本計画で掲げた事業に取り組み、民間の活力を活かす取り組みについ ても実施してまいります。

「立地適正化計画」については、都市機能誘導区域の指定を踏まえ、居住誘導区域の検討を行います。

また、魅力ある中心市街地・駅周辺の整備に向け、「中心市街地活性化基本計画」を策定し、掲げた各事業の実施に取り 組むとともに、各世代等のライフステージに応じた起業・創業に触れる体験活動などの機会づくりを進め、まちぐるみで育 み・支えていける意識の醸成を図ります。

JR茨木駅および阪急茨木市駅西口駅前の再整備について、引き続き関係者等との合意形成を図り事業の推進に努めま す。

平成30年春の駅開業に向け、駅前広場やアクセス道路及び周辺道路、また阪急総持寺駅西口駅前交通広場整備の推 進を図り、交通ネットワークの強化とともに地域の魅力向上に努めます。

安威川ダムの完成、新名神高速道路の供用、彩都東部地区の整備などの効果を活用して、北部地域の魅力向上及び情

報発信についての取組を進めます。 安威川ダム周辺整備については、平成28年度における官民連携事業の可能性検討の成果を踏まえ、引き続きダム周辺 の魅力向上を図るため、民間事業者との連携について検討を深めます。

	H29年度以降の行財政改革の推進	該当する主な行革指針の具体的項目
		1-1 多様な担い手との協働のまちづくりの推進
		3-3 新たな財源の確保
		3-4 税源の確保と拡大
	立地適正化計画策定を支援する国費を活用した財源の確保に努めます。	
2	若手層の起業・創業の支援を強化し、新たな雇用の創出に努めるとともに若者定住を図ります。	
	平成25年度から安威川ダムファンづくり会を設置し、安威川フェスティバルなどを通じて、建設段階から将来の活動の担い手や施設利用者となる「ファン」の拡大を大阪府とともに推進します。	

1	まちの将来像	5 都	5 都市活力がみなぎる便利で快適なまち								
2	施策	5-6 時	代と市	民の期待・要請に		みなぎる者	『市づく	りをすす	める		
5	 施策内の]	□□□□□ 取組の診	——— 平価						* :	重点プラン該当取	
1	取組	5-6-1	5-6-1 ★生活を支える拠点の整備・充実(拠点の配置とネットワークの維持								
2	主担当課	部名		都市整備部	課名	都	市政策	課	課長名	田邊 武志	
3	関係課										
4	目 標 (前期基本 計画より)			節点となる市の都市 生活環境が向上して		2域拠点、	生活拠	点の整備に	こより、者	『市機能が維持・	
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)			あふれるまちをつ 空間の活性化)	内界や馬容	沢周辺等の	整備				
		取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を	与えたタ	卜的な要因	、対応す~	(き今後の課題等)	
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進行 b:おおむ和順 c:進行に大幅 d:進行に大幅	遅れ	本市の中心市街地 中心市街地活性化基 設立及び中心市街地 また、立地適正化 査を行いました。	本計画」の 2の将来像	の策定にお や実施事業	いて、 を検討	「茨木市中 しました。 拠点におり	中心市街地		
	題			参考指標		単位	めざす 方向性		I	目標値(年度)	
								H26年度	H27年度		
1	取組	5-6-2	★魅	力ある中心市街均	也・駅周辺	辺の整備					
1 2	取 組 主担当課	5-6-2	★魅.	力ある中心市街 ^は 都市整備部	也・駅周辺 課名		 	上課	課長名	岸田 茂樹	
-	#: . _	部名			課名		 手地新生	上課	課長名	岸田 茂樹	
2	主担当課	部名 商工労政 駅周辺 ます。 起業家	課、都市や中心への支	都市整備部	課名 課 び進み、人 力的な商店	市名 々が楽し 「等が生ま」	く散策れてい	し、集う	舌気あふれ	いる空間となって	
3	主担当課 関係課 目 標 (前期基本	部名 商工労政 駅す起 別の 家に ②魅力と	課、都市や中心を活力の	都市整備部 市政策課、道路交通記 商業地区の再整備だ 援などにより、魅力	課名 課名 は進み、商店に「中駅多様」 中駅多様のである。	市名 タが楽し 等が生ま 賑わいが	く 散 策 れ て い な ま 本 化 基 本 促 と の に き に く た く に く る に る に る に る た る に る に る に る に る に る に	し、集う? ます。さっ 計画の策 進、 たい拠点	舌気あふれらに、市民 定(協議会の整備、	1 お空間となって 民や市民活動団体 会の設立)、	
2 3 4	主担 関係課 目前画 当プラム あっこ 前期 あいま プラム できる シュース はんしょう はんしょ はんしょう はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	部名 商工労政 駅す起 別の 家に ②魅力と	課、都 [『] や へよ 大 で	都市整備部 市政策課、道路交通記 商業地区の再整備な 援などにより、魅力 動が実を結び、中心 あふれるまちをつ	課名 課名 が進み、 人 店に 中駅多シ 中駅 多ど が 用 様 な に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	市行 マが楽し 等が生ま 賑わいが 万街地活性再 ける は機能を タセンタ	く 散 策 れ て ま れ 生	し、集う? ます。ささいます。 計画の策 進、 拠点一 道路の一	舌気あふれ	れる空間となって 民や市民活動団体 会の設立)、 の推進	
2 3 4	主担 関係 目前画 当プル 当の 当の はの はの はの はの はの はの はの はの はの は	部名 商工労政 駅す起働 かかり できる の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	課、都で で で で で で に は に に に に に に に に に に に に に	都市整備部 市政策課、道路交通語 商業地区の再整備が 援などにより、魅力 動が実を結び、中心 あふれるまちをつ 空間の活性化)	課 選 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	市行しまが、性再持タを心後にする。 「大きなが、性再持タを心後にする。」 「大きなが、性再持タを心後にする。」 「大きなが、性のでは、からに、できない。」 「大きなが、性のでは、ない。」 「大きなが、性のでは、ない。」 「大きなが、性のでは、する。」 「大きなが、性のでは、する。」 「大きなが、性のでは、する。」 「大きなが、性のでは、する。」 「ないった。」	くれ生化生つ一手 計画 る強 こア ま 基のに環 たり 活計画 とに つフリ	し、まて 計進 が道 が が が が が が が が が が が が が	舌気あふれた。 に (協議: の方 対応 でに の を で で で で で で で で で で で で で で で で で 本 の で な ま 本 が ま で に 手度に 基本 計 に に ま な な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に な に	れる空間となって そや市民活動団体 会の設立)、 の推進 き 今後の課題等) 向けた協議会を平成27 ド事業とソフカ都市機能 事業者(商工会議所、 業実現者数が前年度よ 画の検討を行い、駅前	
2 3 4 5	主担 関係課 関係課 目期期より) 該点期基より) 該点期より) お加速 おから おから おから おから おから おから おから おから	部名	課、都で で で で で で に は に に に に に に に に に に に に に	都市整備部 市政策課、道路交通語 市政策課、道路交通語 一方政策課、道路交通語 一方政策地区の再整備が 接などにより、魅力が 大力でにより、魅力が 大力でにより、を力が を記した。 大力ででででででである。 大力でででである。 大力ででである。 大力ででである。 大力ででである。 大力では、 大力である。 大力である。 大力では、 大力である。 大力	課 選 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	市行しまが、性再持タを心後にする。 「大きなが、性再持タを心後にする。」 「大きなが、性再持タを心後にする。」 「大きなが、性のでは、からに、できない。」 「大きなが、性のでは、ない。」 「大きなが、性のでは、ない。」 「大きなが、性のでは、する。」 「大きなが、性のでは、する。」 「大きなが、性のでは、する。」 「大きなが、性のでは、する。」 「ないった。」	くれ生化生つ一手 計画 る強 こア ま 基のに環 たり 活計画 とに つフリ	し、まて計進わ道・性画定にめは化ります。 策 点一 医離れい とと 成のの 要本にいとと 成のの とと 成のの。	舌気あふれた。 に (協議: の方 対応 でに の を で で で で で で で で で で で で で で で で で 本 の で な ま 本 が ま で に 手度に 基本 計 に に ま な な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に ま な に な に	れる空間となって そや市民活動団体 会の設立)、 の推進 き 今後の課題等) 向けた協議会を平成27 ド事業とソフカ都市機能 事業者(商工会議所、 業実現者数が前年度よ 画の検討を行い、駅前	
2 3 4 5	主担 関 目前画 当 関 目前画 当こ期まし 当これ 当の現 年の状 を取と 大 大 大 の 現 大 の 現 よ の の の の の の の の の の の の の	部名	課、	都市整備部 市政策課、道路交通語 市政策課、道路交通語 で選地区の再整備が 接なり、地区の再整備が 接なり、地区の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の	課 選 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	市行しまが、性再持タを小後に一下では、大きに、一大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、	く れ生 化生つー ラ 市 計 る強 こアと	し、まて 計進 が が が が が が が が が が が が が	舌気 たい (協議: の方) 対 のは本 創りに (整通 応 策、市 東	れる空間となって そや市民活動団体 会の設立)、 の推進 き 今後の課題等) 向けた協議会を平成27 ド事業とソフる都市機能 事業現者数が前年度よ 難点における都会議所、 業実現者数が前年度よ 画の検討を行後も引き しました。今後も引き	
3	主担当課関係課	部名 商工労政 駅周辺 ます。	課、都下や中心	都市整備部 市政策課、道路交通記 商業地区の再整備だ	課名 課 が進み、人	本が楽し	く散策	し、集う	舌気あふれ	いる空間と	
3 4	主担 関係課 目前画 当プラム あっこ 前期 あいま プラム できる シュース はんしょう はんしょ はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	部名 商工労政 駅す起 別の 家に ②魅力と	課、都市や中心を活力の	都市整備部 市政策課、道路交通記 商業地区の再整備な 援などにより、魅力 動が実を結び、中心 あふれるまちをつ	課名 課名 は進み、商店に「中駅多様」 中駅多様のである。	市行 本が楽し 手が上まが 一番 では できます できます できます できます できます できます できます できます	く 散 策 れ て い な ま 本 化 基 本 促 と の に き に く た く に く る に る に る に る た る に る に る に る に る に る に	し、集う? ます。さっ 計画の策 進、 たい拠点	舌気あふれらに、市民 定(協議会の整備、	1 お空間となって 民や市民活動団体 会の設立)、	
3	主担 関係課 目前画 当プラム あっこ 前期 あいま プラム できる シュース はんしょう はんしょ はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	部名 商工労政 駅す起働 かかり できる の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	課、都 [『] や へよ 大 で	都市整備部 市政策課、道路交通語 商業地区の再整備が 援などにより、魅力 動が実を結び、中心 あふれるまちをつ 空間の活性化)	課名 課名 が進み、 人 店に 中駅多シ 中駅 多ど が 用 様 な に か に か に か に か に か に か に か に か に か に	市行 マが楽し 等が生ま 賑わいが 万街地活性再 ける は機能を タセンタ	く 散 策 れ て ま れ 生	し、集う? ます。ささいます。 計画の策 進、 拠点一 道路の一	舌気あふれ	れる空間となって 民や市民活動団体 会の設立)、 の推進	
3	主担 関係課 目前画 当プラム あっこ 前期 あいま プラム できる シュース はんしょう はんしょ はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	部名 商工労政 駅す起働 かかり できる の の の の の の の の の の の の の の の の の の の	課、都 [『] や へよ 大 で	都市整備部 市政策課、道路交通語 商業地区の再整備が 援などにより、魅力動が実を結び、中心 あふれるまちをつ 空間の活性化)	課名 課名 本海 な お 中駅 多 シ 内容 中駅 多 シ で 中駅 多 シ で 東、現状	市行 を	く 散 策 れ て ま 化 生 の に 基 ル で は 基 の に 環 で ま で ま で ま で ま で こ で ま で こ で ま で こ で ま で こ で ま で こ で ま で に で ま で に で ま で に で ま で に で ま で に で に	し、集う? ます。ささいます。 計画の策 進いいの 道路の ト的な要因	舌気あふれ	1 る空間となって 民や市民活動団体 会の設立)、 の推進 ごき今後の課題等)	
2 3 4	主担 関係課 目前画 当プラム あっこ 前期 あいま プラム できる シュース はんしょう はんしょ はんしょう はんしょく はんしょ はんしょく はんしょく はんしょく はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょく はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ はんしょ	部名 対 別 辺 家に とま 取組の	課、都 市 心 支活 か へよ 活ち 評価	都市整備部 市政策課、道路交通語 商業地区の再整備が 援などにより、魅力 接などにより、魅力 が実を結び、中心 あふれるまちをつ かいるまちをついる。 評価理由(取組の 中心設立人に記載ををの現状の表しい。 また、中で等のの現状の売店は改い。 また、中で等のの現状のでは、 また、中で等のの現状のでは、 をのの。 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をのの現状のでは、 をののまでは、 をのるのでは、 をのる	課名 課 本籍 中駅多シ 、 たきり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。 大きり。	市行 を	く れ生 化生つー ラ 市 計 ると 大 なま 基のに環 たり 活計策 もと	し、集う? まて、計進、い路 画、い路の要本にい ト的な本にい と は 他 (他 (で) に 、 市 と に た に た に た に た に た に た に た に た に た に	舌気あふれった。 (協議: の方通 に、 の前では、 の創業 支援の創業 支援のの制度 に 一名: は、 の創業 支援の制度 に 一名: は、 の創業 支援の	いる空間となって そや市民活動団体 会の設立)、 の推進 *き今後の課題等) におけた協議会を平成27 ド事業とソフト事業を 拠点における都市機能 事業者(商工会議所、	
2 3 4 5	主担 関 目前画 当 関 目前画 当こ期まし 当これ 当の現 年の状 を取と 大 大 大 の 現 大 の 現 よ の の の の の の の の の の の の の	部名	課、都で で で で で で に は に に に に に に に に に に に に に	都市整備部 市政策課、道路交通語 市政策課、道路交通語 一方政策課、道路交通語 一方政策地区の再整備が 接などにより、魅力が 大力でにより、魅力が 大力でにより、を力が を記した。 大力ででででででである。 大力でででである。 大力ででである。 大力ででである。 大力ででである。 大力では、 大力である。 大力である。 大力では、 大力である。 大力	課 選 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	市行しまが、性再持タを心後にする。 「大きなが、性再持タを心後にする。」 「大きなが、性再持タを心後にする。」 「大きなが、性のでは、からに、できない。」 「大きなが、性のでは、ない。」 「大きなが、性のでは、ない。」 「大きなが、性のでは、する。」 「大きなが、性のでは、する。」 「大きなが、性のでは、する。」 「大きなが、性のでは、する。」 「ないった。」	くれ生化生つ一手 計画 る強 こア ま 基のに環 たり 活計画 とに つフリ	し、まて計進わ道・性画定にめは化ります。 策 点一 医離れい とと 成のの 要本にいとと 成のの とと 成のの。	舌気あふれたのに、 (協議: の方 対のは本 乗り、 本では、 のに できる	れる空間となって そや市民活動団体 会の設立)、 の推進 き 今後の課題等) 向けた協議会を平成27 ド事業とソフカ都市機能 事業者(商工会議所、 業実現者数が前年度よ 画の検討を行い、駅前	
2 3 4 5	主担 関 目前画 当 関 目前画 当こ期まし 当これ 当の現 年の状 を取と 大 大 大 の 現 大 の 現 よ の の の の の の の の の の の の の	部名	課、都で で で で で で に は に に に に に に に に に に に に に	都市整備部 市政策課、道路交通語 市政策課、道路交通語 一方政策課、道路交通語 一方政策地区の再整備が 接などにより、魅力 動が実を結び、中心 動が実を結び、中心 事価理由(取組の 中心市立しく記載をおり、 中心市立しく記載を記載をのいました。 ででした。 のででした。 ででした。 のでで、 のででで、 のでで、 のでで、 のでで、 のででで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のでで、 のででで、 のででで、 のででで、 のでででで、 のでででででででででで	課 選 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	市行しまが、性再持タを小後に一下では、大きに、一大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、大きに、	く れ生 化生つー ラ 市 計 る強 こアと	し、まて 計進 が が が が が が が が が が が が が	舌気 たい (協議: の方) 対 のは本 創りに (整通 応 策、市 東	れる空間となって そや市民活動団体 会の設立)、 の推進 き 今後の課題等) 向けた協議会を平成27 ド事業とソフる都市機能 事業現者数が前年度よ 難点における都会議所、 業実現者数が前年度よ 画の検討を行後も引き しました。今後も引き	
2 3 4 5	主担 関 目前画 当 関 目前画 当こ期まし 当これ 当の現 年の状 を取と 大 大 大 の 現 大 の 現 よ の の の の の の の の の の の の の	部	課、	都市整備部 市政策課、道路交通語 市政策課、道路交通語 で選地区の再整備が 接なり、地区の再整備が 接なり、地区の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の	課 選 (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本) (本)	市行を変し、大きなが、性再持ターでは、大きなが、性再持ターでは、大きのでは、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	く れ生 化生つー ラ 市 計 る強 こア必 め方 でま 基のに環 オ 地基の とに ハリ夢 ざ向 まいれ 本促ぎ状 タ 活計策 も努 てーあ す性	し、集う? まて、計進、い路の要本にいととは、 は、い路の要本にいととは、 は、い路の要本にいととは、 は、いなます。 は、、たこのは、 は、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、、	舌気 あふれ 市 に (協議:	れる空間となって そや市民活動団体 会の設立)、 の推進 き今後の課題等) 向けた協議会を平東業を 地点における都市機能 事業者(商工会議所、 業実現者数が行い、駅前き 世標値(年度)	

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-6	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる

★:重点プラン該当取組

1	取 組	5-6-3	(仮称	i)JR総持寺駅を	<u></u> 活かした	都市づく	IJ		^.	里点ノフノ該ヨ取組	
2	主担当課	部名		都市整備部	課名	市後	 	上課	課長名	岸田 茂樹	
3	関係課										
4	目標 (前期基本 計画より)			総持寺駅が開業する 図られています。	おことで、	まちの新	たな拠	点が誕生	し、同駅や	P阪急総持寺駅周辺	
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)				内容						
		取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を与	ラえたタ	卜的な要因	、対応すべ	(き今後の課題等)	
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a: 順調に進行 b: おおむね順i c:進行にややi d:進行に大幅	調に進行	駅整備については、 仮土留工事等を実施 がら進めてまいりま ん。	iしました。	また、周	辺整備	については	は、関係機	関と連携を図りな	
	題			参考指標		単位	めざす	実終	責値	目標値(年度)	
				少 有拍标		甲世	方向性	H26年度	H27年度	日保旭(平及)	
		庄一丁目地区地区計画区域内の人口				人	1	550	1,100	1,900(H32)	
		JR京都線· 行台数(台		橋梁桁下を通行する	大型車通	台	1	861	_	947(H30)	

1	取組	5-6-4	★北部	部地域の魅力向_	L						
2	主担当課	部名		都市整備部	課名	北部	北部整備推進課 課長名			上田 雄彦	
3	関係課	まち魅力を	発信課、	スポーツ推進課、商	工労政課、	農林課、道	道路交ù	通課、公園	緑地課、社	会教育振興課	
4	目 標 (前期基本 計画より)		北部地域が良好な住環境と観光資源を備えた魅力ある地域として整備され、多くの来訪者との交が増え、活性化が図られています。								
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)	O /		あふれるまちをつ の活性化)		ダムや新				D保全・活用、 魅力ある施設・空	
		取組の	評価	評価理由(取組の)	成果、現状	に影響を与	与えたタ	卜的な要因	、対応す~	(き今後の課題等)	
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進行 b:おおむね順 c:進行にやや d:進行に大幅	調に進行遅れ	北部地域には緑豊 れており、エリアガ たこともあり、交流 今後も、広く情報 部地域の維持、発展	イドBOOK 人口は増加 を発信する	「いばきた 加していま るとともに	」など す。 、地域	を活用し、の課題等を	北部地域		
	題			参考指標		単位	めざす		責値	目標値(年度)	
				少行 1日1末		平 四	方向性	H26年度	H27年度	口标吧(千皮)	
		北部地域における交流人口					1	147,061	163,356	増加(H31)	
		北部地域/	こおける	交流人口		人		H26年度		增加(H3	

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-6	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる

6 学識経験者の意見

1	施策	5-6	時代と市民の期待・要請に応え活力みなぎる都市づくりをすすめる
2	学識経験者	近畿大学	総合社会学部 久 隆浩 教授
3		称) JR総内 ての総合記 ・活力は基	Rおよび阪急茨木市駅西口駅前整備は実現化に向けて一部整備及び検討が進んでいるが、(仮 F寺駅前周辺整備は一部地権者の理解が得られないなど進捗が遅れている部分もあり、総合化し 評価「B」は妥当と考えられる。 R盤整備だけでは実現せず、ソフトな施策との連携が必要である。今後とも、ハード・ソフトの連携に 力ある都市づくりを進められたい。

1 施策の概要

<u> </u>	肥泉の似安									
1	まちの将来像	5	5 都市活力がみなぎる便利で快適なまち							
2	施策	5-7	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市 づくりをすすめる							
3	施策の 方向性 (前期基本 計画より)	福祉の たって 今後も	限られた資源を有効に活用し、地域内で循環する省エネルギー型の都市をめざすとともに、誰にもやさしい 福祉のまちづくりや、既存のストックの活用や施設の長寿命化などを進めていきます。これにより、将来にわ たって住み続けることができるまちをめざします。 今後も増加すると懸念される空き家については、所有者への働きかけを行うほか、まちづくりへの活用をめざ します。							
		主拍	旦当課	部名	課名	課長名				
4	担当課	(記入者)		都市整備部	都市政策課	田邊 武志				
7		関	連課	審査指導課、道路交通課						
		5-7-	1 環境負	負荷の低減						
		5-7-	2 ★誰に	こも優しいまちづくりの推進						
	施策内の 取組	5-7-	3 危険家屋・老朽マンション対策							
5	(★:重点プ	5-7-	4 都市計	都市計画施設の見直し						
	ラン該当取組)									

2 H27年度末現在の施策の現状と課題

2

		- 70 III - 700 717	
1	総合評価	В	A 施策の方向性に沿って順調に進行している。 B 施策の方向性に沿っておおむね順調に進行している。 C 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている。 D 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている。
		=±/± += ++/+/-	サのより 切りに影響すたこれはかかまり サウナジャクツの無筋体と

評価理由(施策の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等)

平成27年度は、低炭素化社会の実現に向けた取組として、東芝工場跡地でのスマートコミュニティについて協議を行いました。

また、市民や市を訪れるすべての人が安全で快適に利用できるよう、相当数の高齢者、障害者等が利用する旅客施設、 官公庁施設、福祉施設、病院、文化施設、商業施設などの生活関連施設間が徒歩で移動できる圏内に集積している地区 (重点整備地区)について、バリアフリー基本構想及び特定事業計画の策定を行いました。

「空家等対策の推進に関する特別措置法」に基づく「(仮称)茨木市空家等対策計画」の策定に向け、空家の実態調査や 庁内検討組織による利活用等の検討を行いました。

マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業に伴う建替組合の設立などに対する支援を行う必要があります。

また、良好な居住環境を保全するため、適正に維持保全されていない建築物の所有者等に対して適正な状態に管理するよう指導していく必要があります。

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-7	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる

低炭素化社会の実現に向けた取組として、引き続き、東芝工場跡地でのスマートコミュニティについて、協議を行います。 また、誰にも優しいまちづくりの推進として、市民や市を訪れるすべての人が安全で快適に利用できるよう、バリアフリー基本構想及び特定事業計画に基づき、重点整備地区内の生活関連経路のバリアフリー化に取り組みます。

老朽化した建築物への適切な対応による安全性の確保や、既存ストックを活用したまちづくりを進めるため、空家等対策として、計画策定に向け「茨木市空家等対策協議会」を設置し、空家の実態調査結果や庁内検討組織による検討内容を踏まえ「(仮称)茨木市空家等対策計画」を策定します。

マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業に伴う建替組合の設立などに対する支援を行います。

良好な居住環境を保全するため、適正に維持保全されていない建築物の所有者等に対して適正な状態に管理するよう指導を行います。

4 今後の進め方

H29年度以降の施策の方向性

引き続き、低炭素化社会の実現に向けた取組として、東芝工場跡地でのスマートコミュニティについて、協議を行います。 バリアフリー基本構想及び特定事業計画に基づき、重点整備地区内の生活関連経路のバリアフリー化に取り組みます。

「(仮称)茨木市空家等対策計画」に基づき、「空家活用の促進」や「危険家屋の除却等」の事業を実施します。 マンションの良好な居住環境の確保のため、マンションの適正管理や建替事業に伴う建替組合の設立などに対する支援 を行います。

良好な居住環境を保全するため、適正に維持保全されていない建築物の所有者等に対して適正な状態に管理するよう指導を行います。

都市計画施設の整備を計画的に進めるとともに、社会経済情勢の変化や整備状況等を勘案し適時適切に都市計画施設の検証を行い、必要に応じて都市計画変更等を行います。

	H29年度以降の行財政改革の推進	該当する主な行革指針の具体的項目
		3-1 計画的な財政運営
2	社会資本整備総合交付金を活用して財源の確保に努めます。	

1	まちの将来像	5	都市活力	」がみなぎる便利で	快適なます	5						
2	施策	5-7 環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる										
5	施策内の	収組の評価 ★:重点プラン該当取組										
1	取組	5-7-1	5-7-1 環境負荷の低減									
2	主担当課	部名		都市整備部	課名	都	市政策	課	課長名	田邊 武志		
3	関係課											
4	目 標 (前期基本 計画より)	市民一人ひとりが環境保全に対する高い意識を持ち、環境負荷の低減に努めるとともに、名の協働により、スマートコミュニティや低炭素化社会の実現に向けた取組が進められています										
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)				内容							
		取組	の評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を与	与えたタ	朴的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)		
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進 b:おおむね c:進行にや d:進行に大	順調に進行 や遅れ	東芝工場跡地での)スマート=	コミュニテ			義を行いま 責値	した。		
	題			参考指標		単位	めざす 方向性		_{現1但} H27年度	目標値(年度)		
1	取組	5-7-2) <u>↓</u> <u>=</u> #	にも優しいまちづ	/!!の##>	#						
2		部名	· A DE				敗亦译	1章用	課長名	藤田憲文		
2	主担当課		省	建設部	課名	坦	路交通	!硃	林女 石	際口悪人		
3	関係課	審査指	导硃									
4	目 標 (前期基本 計画より)	フリー	化を実施	れるすべての人が多 するとともに、判り います。								
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)	O /		あふれるまちをつ 空間の活性化)	内 駅周辺	!のバリア	フリー	の推進				
		取組の	の評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を与	与えたタ	ト的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)		
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進 b:おおむね c:進行にや d:進行に大	順調に進行 や遅れ	・大阪府福祉のまちず リーに配慮された者が ・高齢者をも協議を継 ・相当数の高齢者、 ・相・一般を ・相・一般を ・地区)に ・各地区の状況に沿 ・を も含めた取り組みを	築物となる。 安全で気 続し、努等 で で で で で で で で で 気 で で が で で で が で で が で が	ように 経 発 い に あ 対すす が は を を が が 想 を を を を を の を の を の を り に り に り に り に り に し に し に を は た し に を た し を り に を り に り に り に り に り に り に り に り に	者る築客でび必要の会の設動定で	協議が、で事あに、、で事あい。といい、で事あい。これでは、でいるでは、いいののののののののののののののののののののののののののののののののののの	整備されていた。 いと、 を進祉して、 集定を行い	きています。 自由に行動できるよ る必要があります。 設、病院、文化施 いる地区(重点整備 ました。		
	題			参考指標		単位	めざす	実統	責値	目標値(年度)		
				少与14保		—— ——————————————————————————————————	方向性	H26年度	H27年度	口惊胆(平皮)		
		道路特別	定事業(生	活関連経路)整備路線	泉数	路線	1	_	12	33 (H32)		
							1					

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-7	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる

									★ :	重点プラン	該当取組		
1	取 組	5-7-3	危険	家屋・老朽マンシ	ノヨン対策								
2	主担当課	部名		都市整備部	課名	都	市政策	課	課長名	田邊	武志		
3	関係課	審査指導	課										
4	目 標 (前期基本 計画より)		老朽化した建築物への適切な対応による安全性の確保や、既存ストックを活用したまちづくりがんでいます。										
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)		内容										
		取組の	評価	評価理由(取組の	D成果、現状	に影響を	すえたタ	卜的な要因	、対応すべ	き今後の	課題等)		
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a: 順調に進行 b: おおむね順 c: 進行にや幅 d: 進行に大幅	調に進行遅れ	「空家等対策の計画」の策定に向いした。 老朽化したマンコ 替事業にともなうの マンションの区分の 良好な居住環境が対して適正な状態が	け、空家の領ションの良め ションの良め 建替組合の記 所有者等に原 を保全する	を態調査や 子な居住環 安立な・啓 日知・適正 とめ、適正	庁内検 境の確 関を に維持	討組織に 保のため、 情報を分詞 保全されて	てる利活用: マンショ 譲マンショ こいない建	等の検討を ンの適正管 ンセミナー	で行いま で理や建 一等で、		
	題			参考指標		単位	めざす 方向性	実 H26年度	責値 H27年度	目標値	(年度)		
1	取 組	5-7-4	都市	計画施設の見直	[L								
2	主担当課	部名		都市整備部	課名	都	市政策	課	課長名	田邊	武志		
3	関係課												
4	目標		都市計画施設の整備を計画的に進めるとともに、必要性・実現性等の観点から適宜見直しが行われています。										
	(前期基本計画より)	2	1	の整備を計画的に	進めるとと	もに、必	要性・	実現性等の	の観点から	適宜見直	しが行わ		
5	(前期基本	2	1	の整備を計画的に	進めるとと 内 容	もに、必	要性・	実現性等の	の観点から	。適宜見直	しが行わ		
5	(前期基本 計画より) 該当する 重点プラン (前期基本	2	す。 	の整備を計画的に 評 価理由(取組 <i>0</i>	内容								
5	(前期基本 計画より) 該当する 重前期より) H27年の 度取 現在の取	れていま	す。 調に進行		内 容 の成果、現状 整備を計画	に影響を り りに進める	ラえたタ ととも	卜的な要因 に、長期ヲ	、対応すべ	き今後の 市計画施設	課題等)		
	(前期基本 計画より) 該当する 重点ガ基本 計画より)	れていま 取組の a:順調には相順 b:おおにやや:進相順 c:進相順 c:進相順 c:進	す。 調に進行	評価理由(取組の 都市計画施設の) いては、必要性・う を行いました。	内 容 の成果、現状 整備を計画	に影響を り りに進める	ラえたタ とともい を行い	ト的な要因 に、長期ポ 、適宜都市	、対応すべ	おき今後の 市計画施設 直しに向け	課題等)		
	(前期基本 計画より) 該当するン (前期より) 日27年の大 度取と 現在の現状と	れていま 取組の a:順調には相順 b:おおにやや:進相順 c:進相順 c:進相順 c:進	す。 調に進行	評価理由(取組の 都市計画施設の いては、必要性・3	内 容 の成果、現状 整備を計画	に影響を 与 内に進める 気から評価	ラえたタ ととも を行い	ト的な要因 に、長期ポ 、適宜都市	、対応すべ 、対応すべ で着手の都 で計画の見	おき今後の 市計画施設 直しに向け	課題等) 対等につ けた検討		
	(前期基本 計画より) 該当するン (前期より) 日27年の大 度取と 現在の現状と	れていま 取組の a:順調には相順 b:おおにやや:進相順 c:進相順 c:進相順 c:進	す。 調に進行	評価理由(取組の 都市計画施設の) いては、必要性・う を行いました。	内 容 の成果、現状 整備を計画	に影響を 与 内に進める 気から評価	ラえたタ とともい を行い	ト的な要因 に、長期利 、適宜都可	、対応すべ 、対応すべ	おき今後の 市計画施設 直しに向け	課題等) 対等につ けた検討		
	(前期基本 計画より) 該当するン (前期より) 日27年の大 度取と 現在の現状と	れていま 取組の a:順調には相順 b:おおにやや:進相順 c:進相順 c:進相順 c:進	す。 調に進行	評価理由(取組の 都市計画施設の) いては、必要性・う を行いました。	内 容 の成果、現状 整備を計画	に影響を 与 内に進める 気から評価	ラえたタ とともい を行い	ト的な要因 に、長期利 、適宜都可	、対応すべ 、対応すべ	おき今後の 市計画施設 直しに向け	課題等) 対等につ けた検討		
	(前期基本 計画より) 該当するン (前期より) 日27年の大 度取と 現在の現状と	れていま 取組の a:順調には相順 b:おおにやや:進相順 c:進相順 c:進相順 c:進	す。 調に進行	評価理由(取組の 都市計画施設の) いては、必要性・う を行いました。	内 容 の成果、現状 整備を計画	に影響を 与 内に進める 気から評価	ラえたタ とともい を行い	ト的な要因 に、長期利 、適宜都可	、対応すべ 、対応すべ	おき今後の 市計画施設 直しに向け	課題等) 対等につ けた検討		

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-7	環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる

6 学識経験者の意見

1	施策	5-7 環境負荷の低減や少子・高齢化社会を見据え持続可能な都市づくりをすすめる
2	学識経験者	近畿大学総合社会学部 久 隆浩 教授
3	意見等	・事業の進捗は予定通り進んでおり、一定の成果もみられることから、総合評価「B」は妥当と考えられる。 ・「5-7-1 環境負荷の低減」は、6章の環境負荷低減とどのように差別化、連携がなされているのかが分かりに くい。市民による環境負荷の低減がここの分担だとすれば、東芝工場跡地の記述だけでは不十分である。 ・空家対策はこれからであるが、今後の重要な課題であり、取り組みに期待する。

1 施策の概要

<u> </u>	肥泉の似安 ニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・										
1	まちの将来像	5	都市活力]がみなぎる便利で快適なま	5						
2	施策	5–8	暮らし	らしと産業を支える交通を充実させる							
3	施策の 方向性 (前期基本 計画より)	みやす	国土軸に位置する優位性をさらにいかしていくとともに、平成25年度に策定した総合交通戦略に基づき、「住みやすい・移動しやすい」まちづくりのため、道路ネットワークの充実と強化、公共交通の利用促進や歩行者・自転車空間の安全性の向上等の総合的な交通施策を進めます。								
		主扫	旦当課	部名	課名	課長名					
4	担当課	(記	!入者)	建設部	道路交通課	藤田憲文					
7		関連課		都市政策課、北部整備推進課、建設管理課							
		5-8-	1 ★公共	- ・交通の維持・充実							
		5-8-	2 ★道路	★道路整備の推進							
	施策内の 取組	5-8-	3 駐車場	駐車場・駐輪場の充実							
5	(★:重点プ	5-8-	4 歩行者	歩行者、自転車利用環境の整備							
	ラン該当取 組)	5-8-	5 ★交通	★交通安全対策の推進							

2 H27年度末現在の施策の現状と課題

A 施策の方向性に沿って順調に進行している。
B 施策の方向性に沿って制調に進行している。
C 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている。
D 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている。

評価理由(施策の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等)

- ・公共交通の維持・充実では、総合交通戦略で策定した短・中期施策の進行管理を行い、平成28年度実施する市民の移動利便性向上に向けた施策検討の基礎資料として、公共施設利用時の移動に関するアンケート調査を実施しました。今後は高齢化が進展することを踏まえ、市民の移動の利便性向上施策の検討が必要となります。また、鉄道事業者が今後発生が予想されている大規模地震及び劣化による鉄道施設の被害の未然防止及び拡大防止のための耐震補強事業に対し、市が補助金を交付することにより平成27年度は要対策8箇所のうち5箇所の耐震補強が実施され、列車の安全運行及び鉄道利用者の安全確保、発災時における緊急応急活動の機能確保に努めました。
- ・道路整備の推進では、市内の都市計画道路を含む主要道路や安威川ダム、新名神関連事業の道路改良工事、(仮称)JR総持寺駅前周辺道路の整備等を進め、都市計画道路山麓線2工区(650m)の供用を開始しました。平成27年度末現在、橋梁の耐震補強を17橋及び修繕工事を22橋実施し、歩行者等の安全確保や交通渋滞の解消、都市機能の充実強化を図りました。また、道路改良工事に伴う用地取得については、引き続き関係地権者と合意形成を図っていく必要があります。
- 2 ・駐車場・駐輪場の充実では、収容台数を確保するため、別院町自転車駐車場を新築しました。 市民が市営駐車場を安全で快適に利用し続けるため、各駐車場施設の老朽化対策が必要であり、JR茨木駅東口自転車駐車場(地下1 F)を劣化調査しました。
 - ・歩行者、自転車利用環境の整備では、茨木市自転車利用環境整備計画に位置付けられた自転車ネットワーク優先整備対象路線の内市道双葉町島線L=2,000m、市道西中条町奈良線L=1,000mの自転車レーンの整備を行いました。
 - ・交通安全対策の推進では、駅前周辺の放置自転車等の啓発、指導、撤去等を実施しているが、阪急茨木市駅等においては買い物客等の短時間利用の放置自転車が依然として多い状況です。
 - ・放置自転車に対する啓発を徹底し、放置自転車撤去を行いました。
 - ・交通安全教室は中学校、高等学校、高齢者団体等を対象に132回37,909人に対し実施し、対象者の拡充を図りました。事故発生件数は減少傾向にある中、自転車関連事故が以前として多発しており、さらなる交通ルールの遵守やマナー向上に対する啓発活動の強化が必要になっています

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-8	暮らしと産業を支える交通を充実させる

・公共交通の維持・充実は、総合交通戦略で策定した短・中期施策の実施及び関係事業者と共に施策の進行管理を行います。また、今後高齢化が進展することから、自動車に過度に依存しなくても安全で快適に移動できる交通環境を構築し住みやすい、移動しやすいと実感できる交通体系作りを目指すため、公共交通の利便性向上に向けた諸施策の検討を行います。また、鉄道施設の耐震補強の要対策箇所3箇所の耐震補強を実施するため鉄道事業者へ補助金を交付します。

・道路整備の推進は、交通ネットワークの形成による渋滞緩和を図るため、都市計画道路の整備を推進します。また、JR総持寺駅の開業にあわせた周辺道路整備や、安威川ダム、新名神関連事業の道路改良工事を実施するとともに、引き続き年次計画に沿って橋梁の耐震補強及び修繕工事を実施します。

・駐車場・駐輪場の充実は、別院町自転車駐車場を4月から開設、運営します。 西駅前町自転車駐車場のシェルター等が老朽化しているため、施設改修の設計委託を行います。 市営駐車場施設の調査、点検を公共施設点検マニュアルに則して行い、計画的に補修を行っていきます。 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業にあわせて民間事業者とも連携し、駐車対策を協議していきます。

・歩行者、自転車利用環境の整備は、茨木市自転車利用環境整備計画に位置付けられた、優先整備対象路線の自転車レーン等自転車の通行空間の整備を行います。

・交通安全対策の推進は、駅前周辺の美観の保持と歩行者等の安全確保を図るため、放置自転車に対する啓発を徹底し、放置自転車撤去活動を継続して実施するとともに、民間事業者とも連携し、放置自転車対策の協議、効果検証を繰り返し行い、改善に努めてまいります。また、高齢者、中学生、高校生に対する交通安全教室の開催を拡充し、自転車利用者に対して、マナー違反が多い箇所での啓発活動を行い、交通安全意識の高揚と正しい交通ルールの啓発普及に努めます。

4 今後の進め方

H29年度以降の施策の方向性

・公共交通の維持・充実は、総合交通戦略で策定した短・中期施策の実施、及び関係事業者と共に施策の進行管理を行います。また、今後、高齢化が進展する中、市民の皆さまが自動車に過度に依存しなくても安全で快適に移動できる交通環境を目指すため、公共交通の利便性向上に向けた諸施策を実施します。

・道路整備の推進は、交通ネットワークの形成により渋滞緩和を図るため、平成29年度末の都市計画道路茨木松ヶ本線の全線供用開始を始め、引き続き都市計画道路等の整備を推進します。また、JR総持寺駅の開業にあわせた周辺道路整備や、安威川ダム、新名神関連事業の道路改良工事を実施するとともに、年次計画に沿って橋梁の耐震補強及び修繕工事を実施します。

・駐車場・駐輪場の充実は、市営駐車場施設の調査、点検を公共施設点検マニュアルに則して行い、計画的に補修を行っていきます。 阪急茨木市駅西口駅前周辺整備事業にあわせて民間事業者とも連携し、駐車対策を協議していきます。

・歩行者、自転車利用環境の整備は、平成28年度に引き続き、優先整備対象路線の自転車通行空間の整備を進めます。

・交通安全対策の推進では、駅前周辺の美観の保持と歩行者等の安全確保を図るため、放置自転車に対する啓発を徹底し、放置自転車撤去活動を継続して実施するとともに、民間事業者とも連携し放置自転車対策の協議などにより、効果検証を繰り返しながら、改善に努めてまいります。

また、高齢者、中学生、高校生に対する交通安全教室の開催を拡充し、自転車利用者に対して、マナー違反が多い箇所での啓発活動を行い、交通安全意識の高揚と正しい交通ルールの啓発普及に努めます。

	H29年度以降の行財政改革の推進	該当する主な行革指針の具体的項目
		1-1 多様な担い手との協働のまちづくりの推進
		3-3 新たな財源の確保
		4-1 効率的な組織運営
	・社会資本整備総合交付金を活用して、財源の確保に努めます。	
2	・民間事業者(鉄道事業者)との連携により、民間駐車場を活用していきます。	
	・警察や各種団体との連携、協力関係を充実させ効果的、効率的な交通 安全教室や交通ルールの啓発活動を実施していきます。	

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-8	暮らしと産業を支える交通を充実させる

5 族等内の取組の評価

5	施策内の	取組の評価 ★:重点プラン該当取組										
1	取 組	5-8-1	★ 公:	共交通の維持・充	実							
2	主担当課	部名		建設部	課名	道	路交通	課	課長名	藤田憲文		
3	関係課	都市政策	『市政策課									
4	目 標 (前期基本 計画より)		方内ではバス路線網が維持され、多くの人が利用しています。また、タクシーは、路線バスを利できない交通弱者やさまざまな利用者のニーズに応えるなど、多様なサービスが提供されていま									
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)	O /	魅力と活力のあふれるまちをつ る(まちなか空間の活性化)									
		取組の	評価	評価理由(取組の)	成果、現状	に影響を	与えたタ	卜的な要因	、対応すべ	(き今後の課題等)		
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a:順調に進行 b:おおむね順 c:進行にやや d:進行に大幅	屋れ	・総合交通戦略で策策ました。 ・平成28年度実施する。 ・平成28年度実施する。 ・平成28年度実施する。 ・一年の移動に関の利利の ・一年の移動の利利の ・一年のでの ・一年の ・一年の ・一年の ・一年の ・一年の ・一年の ・一年の ・一年	る市民の移動 アンケート 更性向上施動 れている大規 设耐震補強	動利便性向 調査を実施 策の検討が 規模地震及 事業に対し	上に向い しまし 必要と び劣化 、市が	けた。 た。 た。 りまる なこま は は りまる を が が を が が が が が が が が が が が が が が が	討の基礎資 高齢化が進 施設の被害 付すること	料として公共施設利 展することを踏ま の未然防止及び拡大 により、列車の安全		
	題			参考指標		単位	めざす	実終	責値	目標値(年度)		
				多为161末		辛匹	方向性	H26年度	H27年度	口标吧(千皮)		
		バス利用者	首数			人/目	→	25,400 (H26)		24,700人/日(H35)		
		市内の移動	助に対す	る満足度		%	1	49.8% (H24)		55% (H35)		
		鉄道施設而	耐震補強	鱼 鱼 鱼 鱼 鱼 鱼		箇所	1		5	8箇所(H29)		

1	取 組	5-8-2	★道	 路整備の推進								
2	主担当課	部名		建設部	課名	道	路交通	課	課長名	藤田 憲文		
3	関係課	北部整備	比部整備推進課									
4	目 標 (前期基本 計画より)		市中心部への通過交通の流入を抑制するとともに、市内幹線道路網の整備推進により、市内交通円滑になるよう道路整備が進んでいます。また防災空間としての役割にも配慮されています。									
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)	③安全・ くる	安全・安心に暮らせるまちをつ 内容 災害時に防災空間ともなる道路の整備									
		取組の	評価	評価理由(取組の)	成果、現状	に影響を与	すえたタ	卜的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)		
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a: 順調に進行 b: おおむね順 c: 進行にやや d: 進行に大幅	遅れ	市内の都市計画道 改良工事を実施し、 な交通の確保に努め 化を図るために、駅 実施しました。しか 道路改良工事に伴 を図る必要がありま	歩行者、 ました。 調用の は の が の が の が の の の の の の の の の の の の	自転車等の また、JR総 各を整備す ら引き続き	通行の 持寺駅 る 交通処	安全や交通の周辺部に の周辺部に もに、橋刻 理機能の向	重渋滞の解こついて、 こついて、 この耐震補 可上を図る	消等、円滑で安全 都市機能の充実強 強及び修繕工事を 必要があります。		
	題			参考指標		単位	めざす	実終	責値	目標値(年度)		
				多为161末		平位	方向性	H26年度	H27年度	口保旧(千皮)		
			都市計画道路(市施工)の整備率				%	1	75.8	78.8	84.5(H31)	
		耐震·補強	済みの	橋梁数		橋	1	15	17	26橋(H32)		
		維持補修治	斉みの棒	新梁数		橋	1	18	22	246橋(H113年)		

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-8	暮らしと産業を支える交通を充実させる

★:重点プラン該当取組

1	取 組	5-8-3 駐車場・駐輪場の充実										
2	主担当課	部名		建設部	課名	建	設管理	課	課長名	澤田 晴光		
3	関係課											
4	目 標 (前期基本 計画より)	交通の	交通の状況や地域の特性に応じた駐車場・駐輪場の整備が進んでいます。									
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)				内容							
		取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を	ラえたタ	卜的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)		
6	H27年度末 現在の取組 の現状と課	a: 順調に進行 b: おおむね順 c: 進行に大幅	調に進行遅れ	別院町自転車駐車場 自転車駐車場を整備 て多い状況です。 市民が市営駐車場を 要であり、JR茨木	しているな安全で快道	が、買い物	続ける	ため、各駅	主車場施設	の老朽化対策が必		
	題			全		# / +	めざす	実終	責値	口烦恼(左连)		
				参考指標		単位	方向性	H26年度	H27年度	目標値(年度)		
		放置自転車台数					`	871	862	784(H36)		

1	取 組	5-8-4	5-8-4 歩行者、自転車利用環境の整備									
2	主担当課	部名	建設部	建設部 課名 道路交通課		課	課長名	藤田憲文				
3	関係課											
4	目 標 (前期基本 計画より)	歩行者 転車利用	歩行者、自転車、自動車の通行空間の分離などによる安全な歩行空間の確保が進むとともに、自 E車利用環境の向上により、安全な歩行者、自転車通行が可能となっています。									
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)		内容									
		取組の	評価 評価理由(取組の	成果、現状	に影響を与	テえたタ	卜的な要因	、対応すべ	(き今後の課題等)			
6	H27年度末 現在の取組	a:順調に進行 b:おおむね順 c:進行にやや d:進行に大幅	市の中心部では自転る状況となっている められています。 曜れ	転車レーン	ンの整備を 者がともに	行いま 多く、	した。 自転車通行	テ可能な歩	道において混在す			
	の現状と課 題		参考指標		単位	めざす	実終	責値	目標値(年度)			
			少行旧标			方向性	H26年度	H27年度	口惊胆(牛皮)			
		自転車関連		件/千人・ 年	/	1.82	1.37	1.83(H36年度)				
		自転車のi 28.4)	道路利用満足度(平成24年の	実績は	%	1	_	_	32.0(H36年度)			
		自転車ネッ	トワーク路線整備率		%	1	6.8	17.7	100(H36年度)			

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-8	暮らしと産業を支える交通を充実させる

★:重点プラン該当取組

1	取 組	5-8-5 ★交通安全対策の推進										
2	主担当課	部名		建設部 課名 道路		路交通	課	課長名	藤田憲文			
3	関係課	建設管理	建設管理課									
4	目 標 (前期基本 計画より)	2	安全な道路環境の形成や市民の交通意識の高まりにより、事故の発生件数が減少し、安全かつ快な通行が実現しています。									
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)	③安全・ くる	③安全・安心に暮らせるまちをつ 大 安全な道路環境の形成、 なる									
		取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を	与えたタ	卜的な要因	、対応すべ	き今後の課題等)		
6	H27年度末 現在の取組	a:順調に進行 b:おおむね順 c:進行にやや d:進行に大幅	調に進行	・駅前周辺の放置自 においては買い物客 ・放置自転車に対す ・交通安全教室に対す ・交通安全、高齢発生だ ・本市の事引き続きな の強化が必要になっ	等の短時間 る啓発 これ 体への関係 数は 全な道路野	間利用の放放します。 前利用の放放しまではいるででででいる。 でのででででいるできる。 では、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ	置自転置音所図の	車が依然と車撤去を行幼稚園、人した。、自転車関	さして多い 行いました。 小学校だけ 関連事故は	状況です。 でなく、中学校、 依然として多発し		
	の現状と課題			参考指標		単位	めざす	実績値		目標値(年度)		
				多为161末		平位	方向性	H26年度	H27年度	口惊险(千尺)		
		総人口に対する事故発生率(年単位で集計)				%	>	0.56	0.47	0.5(平成31年度)		

6 学識経験者の意見

1	施策	5-8 暮らしと産業を支える交通を充実させる
2	学識経験者	近畿大学総合社会学部 久 隆浩 教授
3	意見等	・事業の進捗は予定通り進んでおり、一定の成果もみられることから、総合評価「B」は妥当と考えられる。 ・自転車レーンの設置が進んでおり、それにともなって自転車事故が減少、また交通事故全体も減少するなど、効果が見られている。 ・目標値にくらべ、橋梁の補強・補修が進んでおらず、充実が求められる。 ・バス利用者がすでに目標値を超えており、再考が必要である。

1 施策の概要

<u> </u>	施束の概要 ニュー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・								
1	まちの将来像	5	5 都市活力がみなぎる便利で快適なまち						
2	施策	5–9	市民・民間によるまちづくりを促進する						
3	施策の 方向性 (前期基本 計画より)	りの促え	まちづくりに関する知識の普及、情報の提供、まちづくり活動への支援を継続して進め、住民主体のまちづく の促進に努めるだけでなく、民間事業者と協力して進める新しいまちづくりについても検討、推進し、本市 り魅力と活力を発信していきます。						
		主持	旦当課	部名	課名	課長名			
4	担当課	(記入者)		都市整備部	都市政策課	田邊 武志			
4		関連課							
		5-9-	1 民間と	の連携、活力の活用					
		5-9-	2 市民に	よる地域づくり					
	施策内の 取組								
5	(★:重点プ								
	ラン該当取組)								

2 H27年度末現在の施策の現状と課題

	ニニ・一次パラルドマルバスマンドである						
1	総合評価	A 施策の方向性に沿って順調に進行している。 B 施策の方向性に沿っておおむね順調に進行している。 C 施策の方向性に沿った進行にやや遅れが生じている。 D 施策の方向性に沿った進行に大幅な遅れが生じている。					
	評価理由(施策の成果、現状に影響を与えた外的な要因、対応すべき今後の課題等)						

民間の開発における公共施設の整備や市民が利用できる施設の設置について、民間と連携し協議・調整を行っています。

今後も、さまざまな主体との協働及び補助により、市民の活動を支援していきます。

2 また、「いばらきまちづくりラボ」等を開催し、市民のまちづくり活動へ参加するきっかけづくりやまちづくりに関する知識の普及等に努めることで、市民のまちづくりへの関心が高まり、参加者自らが主体となり学生や民間事業者と連携した取り組みが実施されました。

なお、市中心市街地のにぎわい創出を目的とする提案公募型公益活動支援事業(中心市街地の活性化事業)に対し、補助による支援を行っており、まちづくりに貢献するイベントに市内外から約1400人の方が来場され、中心市街地の活性化が図られました。

今後も、市民が参加する多様な機会の提供等、市民の活動を支援していきます。

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち							
2	施策	5-9	市民・民間によるまちづくりを促進する	市民・民間によるまちづくりを促進する						
3	H28年度 <i>0</i> .	施策	 {の進め方							
協議まの倉市支援	後・調整を行い。 た、「いばらきま 川出等に努めて 中心市街地の 段を行います。	ます。 さちづく いきま にぎわ	共施設の整備や市民が利用できる施設の設置についりラボ」等についても引き続き開催し、まちづくりに関す。 す。 い創出を目的とする提案公募型公益活動支援事業(「茨木市中心市街地活性化基本計画」に掲載する支払	する知識の普及やまちづくり活動に参画する機会 中心市街地の活性化事業)に対し、補助による						
4	今後の進む	か方								
1	し、協議・調整 また、「いば「 機会の創出等	を行い らきまち に努め 以降は	っづくりラボ」等についても引き続き開催し、まちづくりに っていきます。 、、「茨木市中心市街地活性化基本計画」に位置づけ	こついて、引き続き、関係部局や関係機関と連携 こ関する知識の普及やまちづくり活動に参画する						
		Н	29年度以降の行財政改革の推進	該当する主な行革指針の具体的項目						
2										

1	まちの将来像	5 者	5 都市活力がみなぎる便利で快適なまち							
2	施策	5-9 市	5-9 市民・民間によるまちづくりを促進する							
5	施策内の」	取組の	評価						★ :	 重点プラン該当取組
1	取 組	5-9-1	民間。	との連携、活力の)活用					
2	主担当課	部名		都市整備部	課名	都	市政策	課	課長名	田邊武志
3	関係課									
4	目 標 (前期基本 計画より)			良好な環境や地域(マネジメントの取)						度や民間活力等を
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)		内容							
		取組σ	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を与	すえたタ	卜的な要因	人対応すべ	(き今後の課題等)
6		a: 順調に進作 b: おおむね順 c: 進行にやれ d: 進行に大帆	〒 頁調に進行 ○遅れ	民間の開発におけ と連携し協議・調整 今後も、さまざます。	隆を行ってい	います。				置について、民間 支援していきま
	題			参考指標		当は のらり		実績	漬値 	· 目標値(年度)
				シ つ 1ロ 1水		+12	方向性	H26年度	H27年度	口保护(干及)
4	Ho &D	5-9-2	士尼	による地域づくり						
1	取 組 主担当課	部名	市氏		課名	- <u>1</u> 217	士心学	: ≑ ⊞	課長名	田邊武志
2	工担当味 関係課	即在		都市整備部課名		都市政策課			林女石	口笼风心
3	利水 林									
4	目 標 (前期基本 計画より)	地域に す。	こおける	住民の主体的な活動	動を支援す	ることに	より、	住民によん	る地域づく	りが進んでいま
5	該当する 重点プラン (前期基本 計画より)		内容							
		取組の	評価	評価理由(取組の	成果、現状	に影響を与	与えたタ	卜的な要因	一、対応すべ	(き今後の課題等)
6	H27年度末 現在の取組	a: 順調に進作 b: おおむね順 c: 進行にやれ d: 進行に大帆	預調に進行 9遅れ	りやまちづくりに関 り、参加者自らが主 また、市中心市街 地の活性化事業)に 市内外から約1400人	ちづくりラボ」等を開催し、市民のまちづくり活動へ参加するに関する知識の普及等に努めることで、市民のまちづくりへのが主体となり学生や民間事業者と連携した取り組みが実施され市街地のにぎわい創出を目的とする提案公募型公益活動支援事)に対し、補助による支援を行っており、まちづくりに貢献す00人の方が来場され、中心市街地の活性化が図られました。が参加する多様な機会の提供等、市民の活動を支援していきま					りへの関心が高ま施されました。 支援事業(中心市街 貢献するイベントに た。
				参考指標		単位	めざす方向性	実統 H26年度	请値 H27年度	· 目標値(年度)

1	まちの将来像	5	都市活力がみなぎる便利で快適なまち
2	施策	5-9	市民・民間によるまちづくりを促進する

6 学識経験者の意見

1	施策	5-9 市民・民間によるまちづくりを促進する
2	学識経験者	近畿大学総合社会学部 久 隆浩 教授
3	意見等	 事業の進捗は予定通り進んでおり、一定の成果もみられることから、総合評価「B」は妥当と考えられる。 ・エリアマネジメントや市民による地区まちづくりを促進することが、本施策の目的であるが、アウトカムとしての成果が出ているとはいえない段階と評価する。実際に、エリアマネジメントやまちづくり協議会活動が展開されるよう、期待する。